

施策評価調書

第3章 政策分野別の主要施策

	施策分野	ページ
人と地域	○ 子ども・子育て	1
	○ 教育	3
	○ 文化・スポーツ・人々の活躍の場づくり	5
	○ まちづくり・地域づくり	7
	○ 過疎・中山間地域	9
	○ 避難地域の再生・避難者の生活再建	11
活カ	○ 農林水産業	13
	○ 商工業・サービス業	15
	○ 再生可能エネルギー	17
	○ 雇用・産業人材の育成	19
	○ 観光・交流	21
	○ 交流基盤・物流基盤	23
安全と安心	○ 健康づくり・健康管理	25
	○ 医療	27
	○ 介護・福祉	29
	○ 日常生活の安全と安心	31
	○ 原子力災害対策	33
	○ 大規模災害対策・危機管理体制	35
思いやり	○ 人権の尊重・男女共同参画社会	37
	○ 思いやりと支え合い	39
	○ 自然環境・景観の保全、継承	41
	○ 低炭素・循環型社会	43



●政策分野の名称 **人と地域（1）子ども・子育て**

**30年後
の
将来像**

子育て世代にやさしい社会が実現するとともに、多様な生き方が社会で受容されています。
地域社会は、子どもの明るい笑顔と活気にあふれています。

●代表的な取組の進捗状況

①安心して出産できる環境づくり

【不妊相談・不妊治療に関する取組】

- ◆不妊・不育症治療費の一部を助成しています。また、各保健福祉事務所に相談窓口を設置するとともに、一般の方々の理解を促すための講演会を実施しています。
(H24 治療費助成実績：延 819 件)



総合周産期母子医療センター

【周産期医療に関する取組】

- ◆妊娠、出産から新生児に至るまで一貫した医療体制を確立するため、医大を始めとした周産期母子医療センターへ補助を行い、県民が安心して生み育てることのできる環境づくりを推進しています。

②日本一安心して子育てができる環境づくり

【子どもの健康管理調査・医療費無料化に関する取組】

- ◆子どもの健康を長期にわたって見守るため、甲状腺検査に取り組んでいます。
(H24 実績：163,264 人)
- ◆子どもの健康を守り、子どもたちが安心して医療を受けられるように、市町村が実施する 18 歳以下の医療費無料化の取組に補助をしています。



屋内遊び場
スマイルキッズパーク
(本宮市)

【原子力災害を背景とする子どもの運動不足解消に関する取組】

- ◆放射線不安により外遊びの機会が少なくなっている子どもの体力向上を図るため、市町村に対する施設運営費等の一部助成や、屋内遊びの研修を実施するなど、屋内遊び場の整備を支援しています。
(H24 実績：公営 17 施設、民間 38 施設)

【子育て支援サービスの充実に関する取組】

- ◆保育所、認定子ども園や、認可外保育施設等に対して、一部費用の助成や研修機会の提供等を行うことにより、子育て支援環境の整備を促進しています。

③結婚を支援していく仕組みづくり

【男女の交流・出会いの支援に関する取組】

- ◆社会全体で男女の出会いの場づくりを推進するため、出会い応援コーディネーターを設置し、イベント実施団体の連携を強化します。また、若者交流イベント等をホームページ、メールマガジンで紹介しています。
(H24 実績：補助金交付 16 団体など)



ふくしま若者交流情報
ステーション (県 HP)

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値
<p>・指標 1</p> <p>合計特殊出生率</p> <p>○現況値 (H23)</p> <p>1.48</p> <p>○H25 目標値</p> <p>上昇を目指す</p>	<p>○評価： —</p> <p>○現状の分析：</p> <p>雇用情勢の悪化や震災・原発事故等の影響により、将来への不安から、結婚・出産をためらい、低水準で推移すると考えられる。</p>	
<p>・指標 2</p> <p>甲状腺検査の受診率</p> <p>○現況値 (H24)</p> <p>82.5%</p> <p>○H25 目標値</p> <p>100%</p>	<p>○評価： おおむね順調</p> <p>○評価の理由：</p> <p>甲状腺検査は、任意であるため、受診率 100% を達成できなかったが、80% を超える実績であったため。</p>	
<p>・指標 3</p> <p>独身男女の出会いを支援するイベントの開催件数</p> <p>○現況値 (H24)</p> <p>116 件</p> <p>○H25 目標値</p> <p>増加を目指す</p>	<p>○評価： —</p> <p>○現状の分析：</p> <p>H23 は震災の影響もあり件数が減少したが、H24 は採択数を増やした効果もあり、大きく件数が増加した。</p> <p>H24 で補助事業は終了するが、H25 は新たに委託事業によりイベント実施団体のサポート等を実施する。</p>	

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①放射線に関する科学的根拠に基づいた情報を分かりやすく発信するとともに、甲状腺検査を始めとする県民健康管理調査のさらなる推進など、引き続き子育て世帯やこれから親となる世代に対して、放射線による出産等への影響に対する不安やストレスを解消する取組が必要です。</p> <p>②核家族化や人間関係の希薄化を原因とする、子育てに伴う負担と不安を軽減するために、社会全体で子育て・子育てを支援する体制づくりを推進する必要があります。</p> <p>③若者交流イベント実施団体の、効果的な取組を促進する必要があります。</p>

●政策分野の名称 **人と地域（2）教育**

**30年後
の
将来像**

子どもたちが、互いに協働し社会に貢献しながら自立して人生を切り拓いていく、創造力にあふれた「こころ豊かでたくましい人」に育っています。

●代表的な取組の進捗状況

①知・徳・体のバランスの良い育成と生き抜く力をはぐくむ教育

【豊かな心の育成に関する取組】

◆道徳の副読本の作成や、学校・団体等が実施する体験活動等の支援をしています。スクールカウンセラーを配置するなど、教育相談体制を整備しています。

(H24 配置実績：公立小学校 86 校、公立中高校は全校など)

【健やかな体の育成に関する取組】

◆中学校及び高等学校で行われる体育の授業や部活動へ外部指導者を派遣するなど、地域のスポーツ団体による学校への協力・支援体制づくりを推進しています。

(H24 派遣実績：授業 12 校、部活動 57 校など)

【確かな学力の育成に関する取組】

◆定着確認シートの活用や、全県的な学力調査を実施するなど、学習課題の把握と授業改善に取り組んでいます。



ふくしま道徳教育資料



会津自然の家（ふくしま
っ子体験活動）

②学校、家庭、地域が一体となった地域全体での教育

【放課後の子どもの学習活動、交流活動に関する取組】

◆運営費の助成や研修機会の提供など、放課後子ども教室等の設置を支援しています。

(H24 設置実績：放課後こども教室 118 箇所など)

【社会教育の担い手育成に関する取組】

◆研修会を実施するなど、社会教育を担うコーディネーターの資質向上を支援しています。(H24 研修会実績参加者 延 309 人)

【学びを通じた地域コミュニティ再生に関する取組】

◆社会教育施設等を活用した地域住民の学習・交流を促進し、学びを媒介とした地域コミュニティの再生を支援しています。



放課後子ども教室
ぬかざわ遊友クラブ
(本宮市)

③安全・安心で質の高い教育環境

【放射線からの安全・安心の確保に関する取組】

◆学校給食用食材の放射性物質検査を実施する市町村等を支援しています。

(H24 実績：51 市町村へ補助など)

【学校施設の耐震化・老朽化対策に関する取組】

◆被災した県立学校施設の復旧、耐震性能の低い施設の改修等を推進しています。また、市町村が行う小中学校の耐震化等を促進しています。

【経済的困難を有する家庭の子どもへの経済的支援に関する取組】

◆避難している幼児・児童・生徒に対する就学支援や、経済的な理由により修学困難と認められる高校生・大学生等に対し、奨学資金の貸与を行っています。



学校施設の耐震化

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標 1

全国学力・学習状況調査結果(全国平均正答率との比較割合、全国平均値を100とした場合の数値)

○現況値(H25)

小6国語	100.3
小6算数	97.1
小6理科	—
中3国語	99.1
中3数学	94.2
中3理科	—

○H25目標値

小6国語	100.2
小6算数	98.3
小6理科	—
中3国語	102.1
中3数学	99.2
中3理科	—

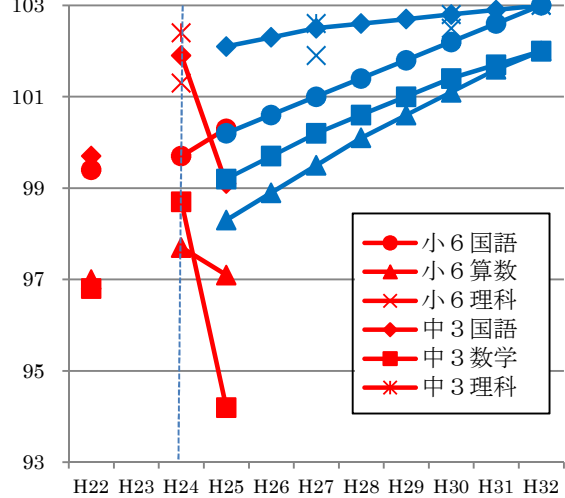
○評価 価：順調ではない

○評価の理由:

本県児童生徒の学力の状況については、国語についてはおおむね全国平均と考えられるが、算数・数学については全国平均を下回っている。

全国平均正答率との比較割合を平成24年度調査と比較すると、小学校国語については上回ったが、小学校算数、中学校国語・数学については下回っている。

(全国平均正答率=100、
公立小学校6年生・中学校3年生)



・指標 2

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果(全国平均との比較割合、平成20年度の全国平均値を100とした場合の数値)

○現況値(H24)

小5男子	97.1
小5女子	99.3
中2男子	97.8
中2女子	97.6

○H25目標値

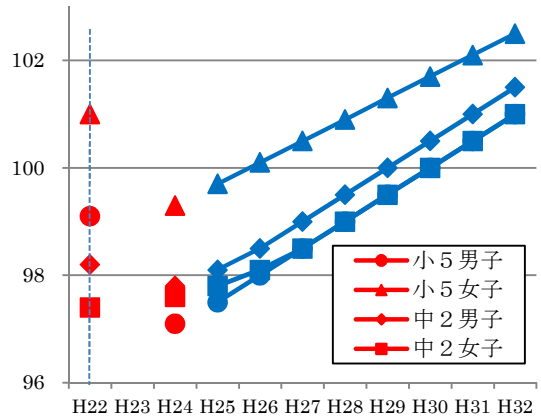
小5男子	97.5
小5女子	99.7
中2男子	98.1
中2女子	97.8

○評価 価：順調ではない

○評価の理由:

原子力災害発生後、放射線による健康被害への不安から屋外活動を制限する時期があり、このことが体力の低下につながったと考えられる

(H20 全国平均値=100)



・指標 3

県立学校施設等の耐震化率

○現況値(H24)

77%

○H25目標値

84%

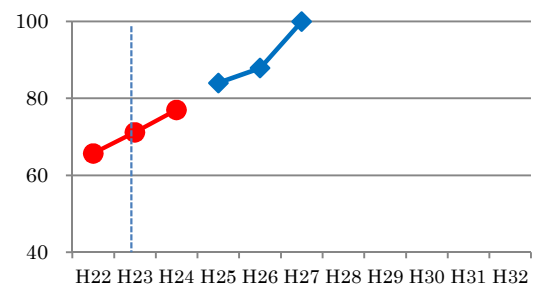
○評価 価：おおむね順調

○評価の理由:

耐震改修基本計画の前倒し等により耐震化を推進しており、計画どおりに目標を達成できるものと考えている。

使用停止の県立学校施設についても、区域見直しや市町村計画による除染の状況を見ながら耐震化を推進する必要がある。

(%：帰還困難区域等内の学校施設を除く)



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①子どもたちの体力・運動能力や、学力について、東日本大震災・原子力災害後の状況を踏まえつつ、さらなる向上を図る必要があります。
- ②学習支援ボランティアなど地域で学校教育を支える人材を、確保及び育成する必要があります。
- ③避難が長期化するなかで、家庭の経済的負担の増大による修学支援及び奨学金利用の増加への対応が必要です。

●政策分野の名称 **人と地域（3）文化・スポーツ、人々の活躍の場づくり**

30年後の将来像

県民は文化・芸術・スポーツ活動に親しみ、本県は先進的な文化・芸術・スポーツ活動の発信拠点となっています。
また、若者・女性・高齢者などが、社会の主役として活躍しています。県民は人生を楽しみ、生活に幸福を実感しています。

●代表的な取組の進捗状況

①文化の振興

【声楽アンサンブルコンテスト全国大会に関する取組】

- ◆声楽アンサンブルコンテスト全国大会を開催し、「合唱王国ふくしま」を全国に発信しています。（H24実績：全国123団体の出演）



声楽アンサンブルコンテスト

【文化財・伝統文化の保存・継承に関する取組】

- ◆重要な文化財の保存と継承を進めるため、被災した文化財の修復と公開の支援等を行っています。

②スポーツの振興

【総合型地域スポーツクラブに関する取組】

- ◆広域スポーツセンター等と連携を図りながら、全ての住民が身近にスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの創設・育成・定着を支援しています。（これまで、48市町村に87クラブが設立）



うつくしまスポーツラリー2012

【選手の発掘・育成・強化、競技力向上に関する取組】

- ◆才能ある人材の早期発掘と競技団体が行う強化合宿や中学・高校の運動部への支援を行うなどにより、競技力の維持・向上に努めています。

③若者・女性・高齢者の活躍の場づくり

【若者が企画運営するイベントなどの支援に関する取組】

- ◆復興・再生のためには、次代を担う若者の力が不可欠であることから、ボランティアなど社会参加活動に若者が積極的な関わりを促す機会を設けています。



青少年育成街頭啓発活動

【高齢者が夢や希望を持てる生きがいづくりに関する取組】

- ◆明るい長寿社会の実現に向け、「福島県シルバー美術展」等の開催や、全国健康福祉祭への選手派遣等を行っています。（H24シルバー美術展実績：出品数390点、来場者約4,000人）

④生涯学習の場づくり

【生涯学習の参加促進に関する取組】

- ◆公共機関、NPO等が実施する学習機会を分かりやすくまとめて情報提供し、学習参加と成果活用を促しています。（H24実績：生涯学習ウェブサイトのリニューアルなど）



県立美術館企画展

【県立美術館・博物館等の展示内容などの充実に関する取組】

- ◆「対決！恐竜展」など来館者の興味を引くような工夫した企画展示を行うとともに、利用者の視点に立った施設運営に取り組んでいます。

●指標の進捗状況		●実績値 ●目標値
<p>・指標1 県立博物館の入館者数</p> <p>○現況値(H24) 83,401人</p> <p>○H25目標値 86,350人以上</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 震災前より入館者が減少していたが、原発事故による風評の影響により、さらに減少となった。 H25には観光誘客部門と連携した企画展の開催を予定しており、入館者数は目標値程度に回復する見込みである。</p>	
<p>・指標2 生涯スポーツ関連行事の開催回数・人数</p> <p>○現況値(H24) 1,647回 190,556人</p> <p>○H25目標値 1,800回以上 182,000人以上</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 復興・再生の進展に伴って行事の開催が増えており、生涯スポーツの機運は回復しつつある。</p>	
<p>・指標3 県民カレッジ受講者数</p> <p>○現況値(H24) 56,063人</p> <p>○H25目標値 57,000人以上</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 生涯学習情報提供システムを充実させ、情報を提供する取組を着実に実施しており、復興・再生の進展に伴って生涯学習の機運も回復するものと想定されるため。</p>	

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①震災により、浜通りを中心に文化の担い手となる人たちの生活拠点が分断されていることから、文化の保存・継承に当たっては、関係機関の連携が今まで以上に必要になっています。</p> <p>②数多くの若者に社会参加の意識を持たせ、長期的に定着させるため、ボランティア活動等を通じた社会性の獲得や自己有用性の向上などの具体的な手法が必要です。</p>

●政策分野の名称 **人と地域（４）まちづくり・地域づくり**

30年後
の
将来像

生活圏の中心都市や各市町村の中心市街地は、広域的な経済活動の拠点となるとともに、都市機能が集積し、賑わいがあふれています。
また、地域住民は、お互い知恵を出し合って、主体的に地域づくりに取り組んでいます。

●代表的な取組の進捗状況

①広域的なまちづくり・地域づくり

【生活交通の確保に関する取組】

- ◆避難者、地域住民の日常の足を確保するため、乗合バス事業者が運行する生活交通路線の維持に助成しています。
(H24実績：運行費補助2.7億円、55路線など)

【地域資源を生かした持続的成長が可能な地域づくりに関する取組】

- ◆地域課題の解決策の検討や実践に向けて、高等教育機関の研究者等の知見の活用した取組みを支援しています。
(H24実績：本宮市ほか2町の調査研究を支援)



生活交通路線（相馬―仙台線）

②中心市街地の活性化

【中心市街地の空き店舗活用などに関する取組】

- ◆地域に必要な業種等を誘致するための空き店舗の改修や福祉や子育てへの活用に助成しています。

【街なか道路の整備に関する取組】

- ◆良好な市街地形成のため、快適な歩行空間の創出等の多様な機能をもつ都市内道路を整備しています。
(H24実績：L=2.46kmの供用開始)



空き店舗の活用（伊達市）

③NPO法人・ボランティア・地域コミュニティの活動の支援

【NPO法人、ボランティア活動の環境整備に関する取組】

- ◆NPO法人等の活動基盤や機能の強化を支援し、個々のNPO等の運営力（財務会計・資金調達・企画立案等）の底上げをします。

【地域コミュニティの再生・活性化に関する取組】

- ◆被災地の住民帰還に必要な商業機能の確保のため、川内村をモデルに地元商店の共同受発注システム等の買い物環境の整備をしています。



NPOの底上げ

④分権型社会への対応

【市町村への支援などに関する取組】

- ◆県土の適正かつ合理的な土地利用を推進するため、市町村の国土利用計画策定を支援するなど、総合的な土地利用対策を実施しています。
- ◆被災市町村のマンパワー不足に対応するため、任期付県職員28名を14市町村に派遣しています。



福島市国土利用計画
土地利用構想図
(土地利用の方向性を示したもの)

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標1 NPOやボランティアと県との協働事業数</p> <p>○現況値(H24) 73事業</p> <p>○H25目標値 68事業</p>	<p>○評価 価：順調</p> <p>○評価の理由： 震災後、復興再生の観点から協働事業が充実されてきており、これに伴い協働事業数が増えつつある。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"> <caption>協働事業数 (件)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>125</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>55</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>70</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>65</td><td>68</td></tr> <tr><td>H26</td><td>75</td><td>75</td></tr> <tr><td>H27</td><td>80</td><td>80</td></tr> <tr><td>H28</td><td>85</td><td>85</td></tr> <tr><td>H29</td><td>90</td><td>90</td></tr> <tr><td>H30</td><td>95</td><td>95</td></tr> <tr><td>H31</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>H32</td><td>105</td><td>105</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	125		H23	55		H24	70		H25	65	68	H26	75	75	H27	80	80	H28	85	85	H29	90	90	H30	95	95	H31	100	100	H32	105	105
年度	実績値	目標値																																				
H22	125																																					
H23	55																																					
H24	70																																					
H25	65	68																																				
H26	75	75																																				
H27	80	80																																				
H28	85	85																																				
H29	90	90																																				
H30	95	95																																				
H31	100	100																																				
H32	105	105																																				
<p>・指標2 市街地内の都市計画道路(幹線道路)延長</p> <p>○現況値(H24) 321.6 km</p> <p>○H25目標値 326.4 km</p>	<p>○評価 価：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： H25に県・市町村で9箇所が完了し、新たに7箇所が新規着手する見通しで、着実に道路延長が伸びている。</p>	<p>(km)</p> <table border="1"> <caption>市街地内の都市計画道路延長 (km)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>316</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>318</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>320</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>322</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>324</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H27</td><td>326</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H28</td><td>327</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H29</td><td>328</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td>330</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H31</td><td>332</td><td>326.4</td></tr> <tr><td>H32</td><td>334</td><td>326.4</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	316		H23	318		H24	320		H25	322	326.4	H26	324	326.4	H27	326	326.4	H28	327	326.4	H29	328	326.4	H30	330	326.4	H31	332	326.4	H32	334	326.4
年度	実績値	目標値																																				
H22	316																																					
H23	318																																					
H24	320																																					
H25	322	326.4																																				
H26	324	326.4																																				
H27	326	326.4																																				
H28	327	326.4																																				
H29	328	326.4																																				
H30	330	326.4																																				
H31	332	326.4																																				
H32	334	326.4																																				
<p>・指標3 市町村への権限移譲数</p> <p>○現況値(H25) 1,726件</p> <p>○H25目標値 1,538件</p>	<p>○評価 価：順調</p> <p>○評価の理由： 市町村の分権意識の高まり等から、権限移譲の件数が当初想定以上となり、H25の目標値を大きく上回る事となった(H24は、法による権限移譲のため累積数からの除外が生じた)。</p>	<p>(件：H12からの累積値)</p> <table border="1"> <caption>市町村への権限移譲数 (件：H12からの累積値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>1,470</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,680</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,560</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,730</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,550</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,580</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,600</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,630</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,650</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,670</td><td>1,538</td></tr> <tr><td>H32</td><td>1,700</td><td>1,538</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	1,470		H23	1,680		H24	1,560		H25	1,730	1,538	H26	1,550	1,538	H27	1,580	1,538	H28	1,600	1,538	H29	1,630	1,538	H30	1,650	1,538	H31	1,670	1,538	H32	1,700	1,538
年度	実績値	目標値																																				
H22	1,470																																					
H23	1,680																																					
H24	1,560																																					
H25	1,730	1,538																																				
H26	1,550	1,538																																				
H27	1,580	1,538																																				
H28	1,600	1,538																																				
H29	1,630	1,538																																				
H30	1,650	1,538																																				
H31	1,670	1,538																																				
H32	1,700	1,538																																				

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>① バスや鉄道の利用者は減少傾向にあり、魅力有るまちづくりや中心市街地の活性化等のため、地域の基幹的な生活交通ネットワークを確保・維持していくことが必要です。</p> <p>② 震災以降の社会貢献の意識の高まりを、ボランティア等の実際の活動の充実につなげていく必要があります。</p> <p>③ 復興再生を進めていく中で、被災市町村のマンパワー不足は今後も続くこと想定されることから、必要な人員の確保に努める必要があります。</p>

●政策分野の名称 人と地域（5） 過疎・中山間地域

**30年後
の
将来像**

過疎・中山間地域では、生活空間としての農山漁村が再評価され、都市部との絆が深まっています。
また、地域資源を活用した産業が興隆するとともに、安全・安心な暮らしが確保されています。

●代表的な取組の進捗状況

①過疎・中山間地域の地域力の育成

【集落の維持・活性化と担い手の育成に関する取組】

- ◆復興に向けた地域づくり活動や、観光関連産業の振興など地域資源を生かした活性化の取組等を支援しています。
(H24実績：事業採択 233件など)
- ◆集落活性化等のため、女性の力を活用したあぶくま地域復興支援や大学生の力を活用した集落復興支援、地域づくりのノウハウや相互ネットワークの構築を図る集落支援員等の育成に取り組んでいます。



地域活性化の取組

②過疎・中山間地域の働く場と収入の確保

【農林水産業の振興に関する取組】

- ◆生産条件が不利な農用地で耕作を継続する農業者に対して、交付金を交付することにより、生産条件の不利性を補正し、農業生産の維持を通じて耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保しています。
(H24実績：43市町村 1,257協定など)
- ◆鳥獣被害防止のため、市町村協議会が実施する鳥獣被害防止活動等を支援しています。



直接支払 共同作業の取組

③過疎・中山間地域の生活基盤の改善

【地域医療の確保に関する取組】

- ◆市町村の要請に基づき、医師の派遣調整を行っています。また、へき地診療所運営への助成や設備整備に対する補助により、地域医療提供体制を整備しています。

【情報通信基盤の整備と活用に関する取組】

- ◆携帯電話の通話エリアの広域化及び不通話地域の解消を図るため、条件不利地域の通話エリア化を支援しています。

【農道・林道などの整備に関する取組】

- ◆地域の主要道路となっている農道・林道などについて、計画的な整備に取り組んでいます。



医師確保のための
個別相談説明会

④奥会津地域の振興

【奥会津地域の魅力向上に関する取組】

- ◆過疎化や高齢化が進行している只見川流域町村の振興を図るため、農商工連携、定住・二地域居住、人材育成及び広域観光・交流を推進しています。



昭和村のからむし織

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標1 地域づくり総合支援事業(サポート事業)採択件数</p> <p>○現況値(H24) 459件</p> <p>○H25目標値 678件</p>	<p>○評価 価：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 震災前の件数までは回復していないものの、住民が主役の復興に向けた地域づくり活動に大きく寄与している。 今後も優先的に復興関連事業を採択することで、地域づくりの活性化による復興を進めたい。</p>	<p>(件：H23からは累積値)</p> <table border="1"> <caption>地域づくり総合支援事業(サポート事業)採択件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>250</td><td>-</td></tr> <tr><td>H23</td><td>200</td><td>-</td></tr> <tr><td>H24</td><td>459</td><td>-</td></tr> <tr><td>H25</td><td>-</td><td>600</td></tr> <tr><td>H26</td><td>-</td><td>800</td></tr> <tr><td>H27</td><td>-</td><td>1000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td><td>1200</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>1400</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>1600</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>1800</td></tr> <tr><td>H32</td><td>-</td><td>2200</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	250	-	H23	200	-	H24	459	-	H25	-	600	H26	-	800	H27	-	1000	H28	-	1200	H29	-	1400	H30	-	1600	H31	-	1800	H32	-	2200
年度	実績値	目標値																																				
H22	250	-																																				
H23	200	-																																				
H24	459	-																																				
H25	-	600																																				
H26	-	800																																				
H27	-	1000																																				
H28	-	1200																																				
H29	-	1400																																				
H30	-	1600																																				
H31	-	1800																																				
H32	-	2200																																				
<p>・指標2 過疎・中山間地域における観光客入込数</p> <p>○現況値(H23) 16,313人</p> <p>○H25目標値 21,988千人</p>	<p>○評価 価：順調ではない</p> <p>○評価の理由： H23は東日本大震災及び原子力災害の影響により過疎・中山間地域における観光客入込数は大幅な減少となったが、H24から観光復興キャンペーンや風評払拭のための取組強化を行っていることから、平成25年度は震災前の約90%まで回復することが見込まれる。</p>	<p>(千人)</p> <table border="1"> <caption>過疎・中山間地域における観光客入込数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>24,500</td><td>-</td></tr> <tr><td>H23</td><td>16,313</td><td>-</td></tr> <tr><td>H24</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H25</td><td>-</td><td>22,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>-</td><td>23,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>-</td><td>25,500</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td><td>26,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>26,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>26,500</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>26,500</td></tr> <tr><td>H32</td><td>-</td><td>27,000</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	24,500	-	H23	16,313	-	H24	-	-	H25	-	22,000	H26	-	23,000	H27	-	25,500	H28	-	26,000	H29	-	26,000	H30	-	26,500	H31	-	26,500	H32	-	27,000
年度	実績値	目標値																																				
H22	24,500	-																																				
H23	16,313	-																																				
H24	-	-																																				
H25	-	22,000																																				
H26	-	23,000																																				
H27	-	25,500																																				
H28	-	26,000																																				
H29	-	26,000																																				
H30	-	26,500																																				
H31	-	26,500																																				
H32	-	27,000																																				
<p>・指標3 過疎地域における医師数</p> <p>○現況値(H22) 195人</p> <p>○H25目標値 増加を目指す</p>	<p>○評価 価：-</p> <p>○現状の分析： 東日本大震災後、最初の調査結果が、H25.12月に公表される予定だが、県内の医療状況からして厳しい結果が予想される。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>過疎地域における医師数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>195</td><td>-</td></tr> <tr><td>H23</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H24</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H25</td><td>-</td><td>増加を目指す</td></tr> <tr><td>H26</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H27</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H28</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H29</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H30</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H31</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>H32</td><td>-</td><td>-</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	195	-	H23	-	-	H24	-	-	H25	-	増加を目指す	H26	-	-	H27	-	-	H28	-	-	H29	-	-	H30	-	-	H31	-	-	H32	-	-
年度	実績値	目標値																																				
H22	195	-																																				
H23	-	-																																				
H24	-	-																																				
H25	-	増加を目指す																																				
H26	-	-																																				
H27	-	-																																				
H28	-	-																																				
H29	-	-																																				
H30	-	-																																				
H31	-	-																																				
H32	-	-																																				

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①地域づくり活動の活性化によって復興を加速させていく必要があります。</p> <p>②中山間地域等における農業生産活動を維持して収入と景観等を守るために、中山間地域等直接支払交付金の取組を継続していく必要があります。</p> <p>③へき地の医師確保に当たっては、関係機関と連携し、引き続き取組を強化する必要があります。</p>

●政策分野の名称 **人と地域（6）避難地域の再生・避難者の生活再建**

30年後
の
将来像

原子力災害の避難地域では、放射性物質の除去が進み、安全で安心して暮らせる社会が実現しています。
また、原子力に依存しない新たな産業の集積と人口の回復が進んでいます。

●代表的な取組の進捗状況

①避難解除等区域における復興・再生

【商工業の再生に関する取組】

- ◆中小企業の復旧・復興を支援するため、グループ単位での施設設備費や建物の借上経費等の一部を補助しています。
(H24実績：133グループ)



小高工業高校の仮設実習棟

【教育・保育に関する取組】

- ◆サテライト校を引き続き管理運営するとともに、通学困難な生徒のための宿泊施設の確保や通学費の支援を行っています。
(H24 宿舎確保実績：8施設)



パトロールの状況

【避難地域の防犯対策に関する取組】

- ◆避難指示区域の再編にともない地元住民、作業員等の通行増加が見込まれることから、24時間体制でパトロールを実施するほか、防犯カメラの運用や自主防犯パトロール隊と連携を図るなどして、治安維持に努めております。

②将来的に住民の帰還を目指す区域の復興・再生に向けた準備

【住民の帰還に関する取組】

- ◆原発事故に起因する迂回交通により、急激な交通量の増加等が生じている路線において、緊急的な現道対策を実施し、避難住民や復興事業従事者などの道路利用者の安全を確保します。



緊急的な現道対策
(カーブの見通し改善など)

【社会基盤の整備、維持・管理に関する取組】

- ◆国の「原子力災害避難区域等帰還・再生加速事業」により、帰還支援につながる生活基盤施設の立ち上げ支援や区域の荒廃抑制・保全等の市町村の様々なニーズに対応します。

③避難者の生活再建・事業

【避難者の生活拠点づくりに関する取組】

- ◆避難者の帰還に向けた環境づくりのため、除染やインフラ復旧を迅速に進めるとともに、県内における除染の実施状況や、避難指示者対象の復興公営住宅の整備状況など、各地の様々な動きを随時情報提供しています。
- ◆原子力災害により避難を余儀なくされている方々のコミュニティ維持・形成の拠点となる復興公営住宅の整備を進めています。
(H24実績：500戸の整備に着手)



避難先での農業再開

【農林水産業者の事業再開に関する取組】

- ◆農業者が営農再開できるよう、農地の保全や作付実証を支援するとともに、避難先等における一時就農を支援するため、初期投資の負担軽減措置などを行っています。
(H24実績：29経営体)

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標1
避難区域等の居住人口
(うち帰還人口)

○現況値 (H24)

40,900人 (居住人口)
25,900人 (帰還人口)

○H25 目標値

増加を目指す

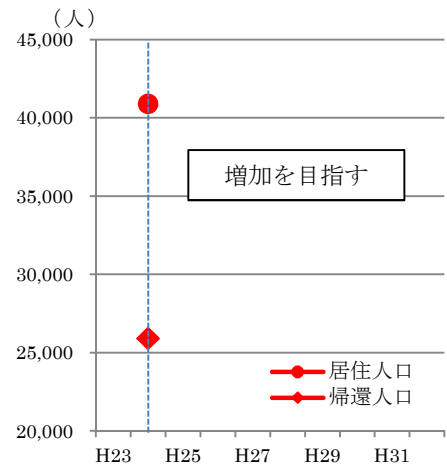
○評価: -

○現状の分析:

居住人口(うち帰還人口)は、現時点では旧緊急時避難準備区域のみの人
口となる。

放射線に対する不安や、日常生活を送るための公共・民間の様々なサービスを受けられる環境が不足していることから、帰還が進んでいない。

除染やリスクコミュニケーションのほか、インフラ復旧、教育、医療福祉等、生活できる環境整備が必要な状況。



・指標2
双葉郡の商工会会員事業所の事業再開状況

○現況値 (H24)

46.3%

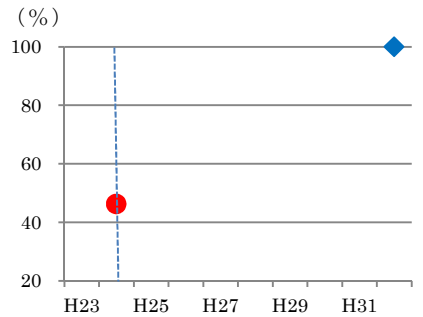
○H32 目標値

100.0%

○評価: -

○現状の分析:

双葉郡町村は原子力災害による警戒区域等に指定され、事業者を始めとする住民が避難を余儀なくされた。警戒区域等は見直されたが、一部が帰還困難区域、居住制限区域に指定されるなど、事業者を始めとする住民の多くは帰還できず、避難している状況にある。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①帰還に向けた環境を整えるため、除染やインフラの復旧、生活環境の整備が必要です。
- ②失われた雇用の回復に向けて、新たな産業の創出や先導的な施策への取組により新たな雇用の受け皿を作る必要があります。
- ③双葉郡の教育の在り方について、引き続き検討を進めていくとともに、地元自治体とさらなる連携を図っていく必要があります。
- ④各事業の実施にあたっては、制度の改善や予算等の拡充について、国へ要望を行っていくとともに、実施にあたっては、市町村の課題に柔軟に対応していく必要があります。
- ⑤避難者が避難先で直面している課題や行政に求める支援の内容が多様化していることから、より実態に即した対応をするとともに、長期的な視点に立って避難者支援の在り方や支援施策の構築につなげる必要があります。
- ⑥原子力災害により避難指示を受けている避難者の、安定した居住環境の確保に向け、一日も早く復興公営住宅に入居できるよう整備を進めていく必要があります。

●政策分野の名称 **活力（1）農林水産業**

30年後
の
将来像

原子力災害を乗り越え、意欲ある農林水産業者が活躍しています。
また、本県は、国内外の食料需要や資源需要を支える一大供給基地となっています。
さらに、最先端技術の活用などにより、効率的で安定的な経営が図られ、魅力ある農林水産業が営まれています。

●代表的な取組の進捗状況

①安全・安心な農林水産物の提供

【放射性物質の検査体制に関する取組等】

- ◆県産米の全量全袋検査を始めとした放射性物質のきめ細かな検査を実施するとともに、検査結果の見える化を行っています。
- ◆安全な農産物を生産するため、農用地の除染や吸収抑制対策に取り組んでいます。



県産米の放射性物質検査

②県産農林水産物のブランド化・高付加価値化

【地域産業6次化に関する取組】

- ◆農林漁業者の所得の向上と雇用の確保を図るため、有機農産物等の地域資源を活用した地域産業の6次化を推進しています。



知事のトップセールス(東京)

【福島県の顔となる県産農林水産物のブランド化に関する取組】

- ◆消費者や流通関係者の信頼とブランド力を回復するため、トップセールス等のPR活動や、品質と安全・安心に関する正しい情報の発信を積極的に展開しています。

③農業の再生

【植物工場などの整備、畜産の復興に関する取組】

- ◆復興交付金等を活用して植物工場や大規模園芸施設の導入、畜産経営の規模拡大など担い手の育成に取り組んでいます。



大区域に再整備された農地

【津波で被災した農地、農業用施設などの整備に関する取組】

- ◆被災した農地・農業用施設の計画的な整備を進めています。
(H24実績：耕地災害復旧 県営75地区、団体営1,260地区など)

④林業・木材産業の再生

【森林の再生に関する取組等】

- ◆間伐、路網整備や木質バイオマス利用施設の整備等を推進しています。
(H24木質バイオマス利用施設整備実績：2箇所)
- ◆放射性物質に汚染された森林の再生を図るため、森林整備と放射性物質の低減及び拡散防止対策を一体的に推進しています。



管理・整備された森林

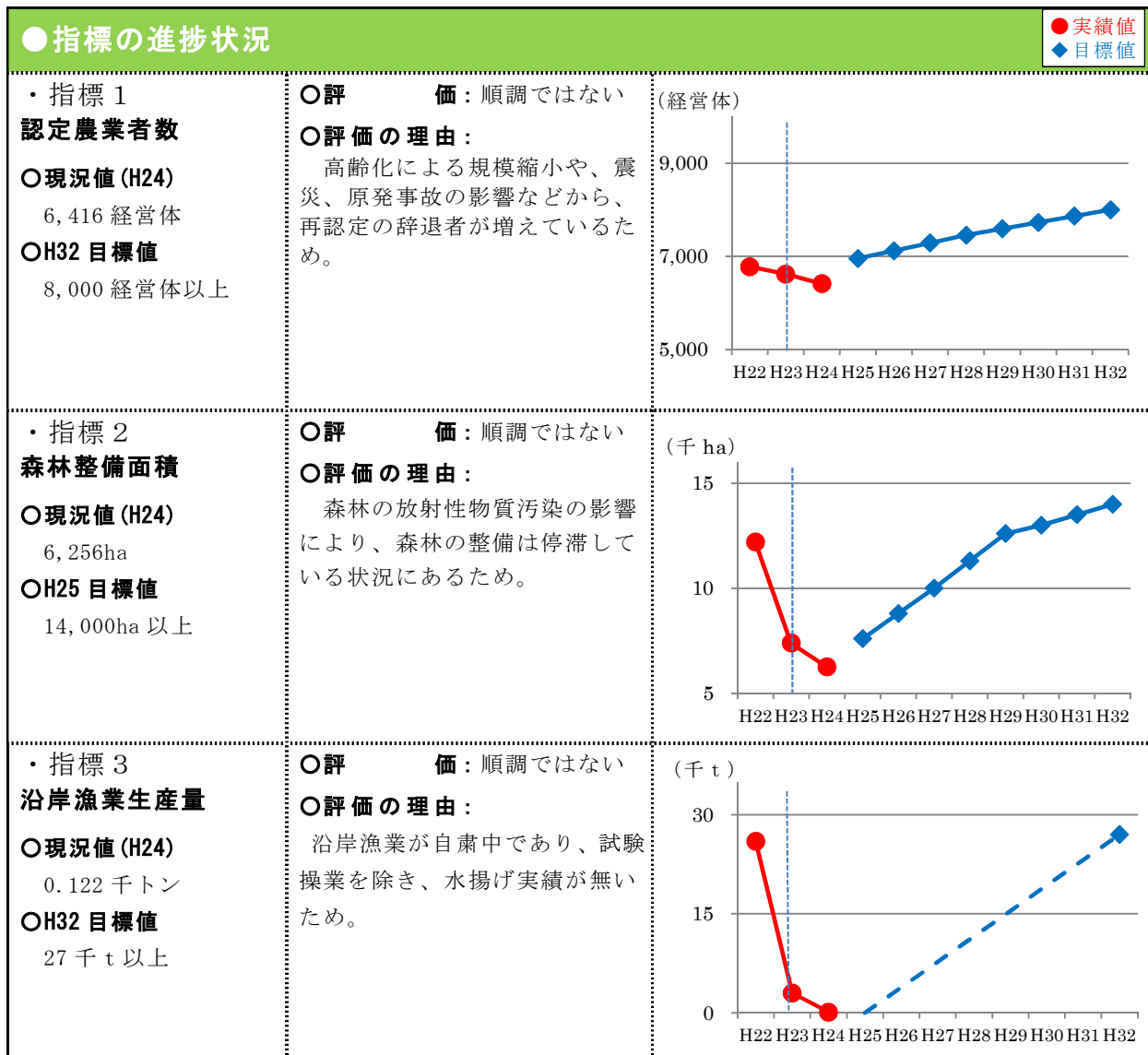
⑤水産業の再生

【水産業の再生に関する取組等】

- ◆水産業の早期復旧を図るため、被災した施設の復旧整備、漁船の復旧等を進めています。
- ◆沿岸漁業の操業再開に向け、モニタリングの結果を踏まえながら、試験操業に取り組んでいます。



試験操業(水揚げ・計量)



- 現段階の問題点・改善等が必要な項目
- ①農林水産物の安全性確保を徹底し、風評を払拭していく必要があります。
 - ②農林漁業の担い手の育成・確保とともに、農林水産特区の活用などにより、農林水産業の復興を加速化していく必要があります。
 - ③避難地域における営農再開が円滑に進むよう、地域の実情に即して、きめ細かに支援していく必要があります。
 - ④森林整備と一体となった放射性物質の低減及び拡散防止対策や、製材工場に滞留したバーク（樹皮）の処理等に取り組んでいくことが必要です。
 - ⑤福島第一原子力発電所の汚染水処理の抜本的な対策を求め、沿岸漁業の操業再開に向け、対象魚種や海域の拡大により、試験操業の取組を拡大する必要があります。

●政策分野の名称 活力（２）商工業・サービス業

**30年後
の
将来像**

多彩な産業が集積し、県内を循環する地域経済が形成されています。
また、県内企業では、製品やサービスの付加価値が向上し、競争力が高まっています。
さらに、県内企業の海外展開が進むとともに、国内外から県内への投資が加速し、人、モノ、資金が集まっています。

●代表的な取組の進捗状況

①企業立地などによる産業の集積

【企業立地に関する取組等】

◆企業の生産拡大及び雇用創出を図るため、県内で新・増設を行う企業への初期投資費用の補助を始め、工業団地への企業誘致活動を実施しています。
(H24 いわき四倉中核工業団地への企業誘致実績：新規立地4件)



県内の工業団地(いわき市)

②医療関連産業など、本県の再生の推進力となる産業の集積

【医療機器開発・安全評価拠点の整備に関する取組等】

◆本県を医療関連産業の一大集積地とするため、(仮称)福島県医療機器開発・安全性評価センターを整備するとともに、医療用ロボットスーツ等の医療福祉機器の開発・実証や、国際的先端医療機器の研究開発等を支援しています。



医療用ロボットスーツ

③県内企業の経営基盤、競争力・収益力の強化

【新技術、新製品の開発などに関する取組】

◆事業者からの依頼試験の実施や、ハイテクプラザ施設・設備の開放などを通じて、県内企業の技術開発や新商品開発を支援しています。
(H24 実績：技術指導4,263件など)



技術支援(ハイテクプラザ)

【中小企業の資金繰り支援に関する取組】

◆震災後、「ふくしま復興特別資金」をはじめとした低利・低保証料の県制度資金により、中小企業者の資金繰りや経営基盤の強化を支援しています。
(H24 ふくしま復興特別資金貸付実績：1,586件)

④ブランド力の向上と販路開拓

【工業製品の放射線測定、加工食品の放射能測定に関する取組】

◆風評払拭のため、これまで県内10商工会議所、26商工会に放射能測定器を設置し、加工食品の放射能測定を実施しています。

【地域資源を生かした産業振興に関する取組等】

◆インターネット販売や商談会などを通じて、県産品の販路開拓、福島ブランドの再生、風評被害対策等に取り組んでいます。



県産品のインターネット販売

⑤起業の支援

【起業後のフォローアップに関する取組】

◆起業を目指す若者や女性とその能力を十分に発揮できるよう、人脈形成や制度資金による支援を行うとともに、起業間もない企業の活動場所として、コラッセふくしま内インキュベーションルーム等の提供や、専門支援員による経営課題への相談対応などを実施しています。



起業支援(起業相談会)

●指標の進捗状況		●実績値 ●目標値
<p>・指標1 工場立地件数</p> <p>○現況値(H24) 102件</p> <p>○H25目標値 130件以上 (H22からの累計値)</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： H24は前年から50件増加した。要因としては「ふくしま産業復興企業立地補助金」の効果により、増設・新設が進んだものと考えられるため。</p>	<p>(件：H22からの累計値、敷地面積1,000㎡以上)</p>
<p>・指標2 医療機器生産額</p> <p>○現況値(H23) 976億円</p> <p>○H25目標値 1,140億円以上</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 震災以降、県内工場も落ち着きをみせており、また、補助金を使った医療機器開発並びに生産が進んでいることから、今後もおおむね順調に推移していくものと思われるため。</p>	<p>(億円)</p>
<p>・指標3 県支援による商談成立件数</p> <p>○現況値(H24) 645件</p> <p>○H25目標値 470件以上</p>	<p>○評価 値：順調</p> <p>○評価の理由： 県内企業と、首都圏を始めとした、国内外の企業とを結びつける展示商談会等の取組により、H24の商談成立実績値はH25目標値の470件を大きく上回る645件となっていることから、今後も順調な推移が期待できるため。</p>	<p>(件：H25からは累計値)</p>

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①産業の振興と復興のため、原発被害による福島県のマイナスイメージを払拭する必要があります。</p> <p>②医療機器産業について、開発から認証までの期間を短縮し、事業化を促進するため、ビジネスマッチング等を行う必要があります。</p> <p>③産業振興や創出のため、企業ニーズを的確に捉えつつ、学・官からの技術移転を図る取組を強化することが必要です。</p> <p>④物産展等への出展事業者が固定化していることなどから、新たな販路開拓に意欲的な事業者を掘り起こし、積極的に支援することが必要です。</p>

●政策分野の名称 **活力（3）再生可能エネルギー**

30年後
の
将来像

本県を拠点とした再生可能エネルギーの研究と実用化が進展するとともに、関連産業が集積しています。

また、県内のエネルギー需要を満たす再生可能エネルギーが生み出されているとともに、創エネルギーによる地域の活性化が図られています。

●代表的な取組の進捗状況

①再生可能エネルギーの導入拡大

【公共施設、住宅における再生可能エネルギーシステムの導入に関する取組】

- ◆地域資源を活用した災害に強い自立・分散型再生可能エネルギーシステムの導入を支援し、安全・安心な地域づくりと地球温暖化対策を推進しています。
(H24実績：市町村公共施設補助33件など)
- ◆住宅用太陽光発電の更なる普及拡大を図るため、年間約6千件分に相当する設置補助事業等に取り組んでいます。



太陽光発電(福島県農業総合センター)

【再生可能エネルギーの事業支援に関する取組】

- ◆本県を太陽光発電、地熱発電、小水力発電など再生可能エネルギーの「先駆けの地」とするため、地域主導による事業の立ち上げを支援しています。
(H24実績：モデル事業採択16件、流量調査39地点など)



風力発電(布引山)

②再生可能エネルギーの研究拠点・関連産業の集積・育成

【再生可能エネルギー関連産業の企業立地・設備投資に関する取組】

- ◆県内及び全国の企業・大学等を会員とした研究会を設置し、再生可能エネルギー関連産業の集積・育成に向けた情報共有・発信やネットワークを強化するための取組を行っています。
- ◆再生可能エネルギー関連機器製造業と県内企業とのビジネスマッチングや、販路拡大を支援しています。



【再生可能エネルギーなどの技術開発に関する取組】

- ◆再生可能エネルギー分野の研究開発を行う県内大学や事業所に対し、経費の一部を助成する支援を行っています。
(H24実績：2社、1大学)



県支援による商談会
(再生可能エネルギー産業フェア)

③再生可能エネルギーに関する人材育成や啓発

【再生可能エネルギーに係る人材・組織の育成に関する取組】

- ◆テクノアカデミー会津において、電気機器関連の学生に対する訓練や一般の方に対する講座を実施し、太陽光発電の基礎知識、施工方法等を指導しています。

【再生可能エネルギーに係る教育・啓発に関する取組】

- ◆再生可能エネルギーと資源利用に関する意識の醸成や資質・能力等を育成するため、教員研修や教材開発、モデル校における各種の学習プログラムを実践します。



太陽光発電設備施工訓練
(テクノアカデミー会津)

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標1
再生可能エネルギーの導入量

○現況値(H24)

1,988,124k1

○H32目標値

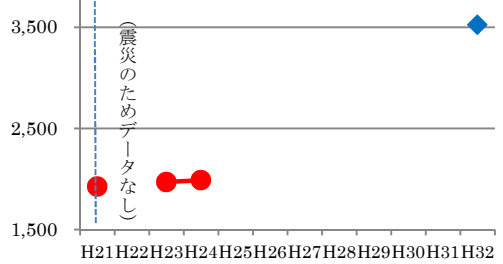
3,522,467k1以上

○評価 値：おおむね順調

○評価の理由：

H24時点で、H32目標値の56%に達しているが、目標達成には更なる大規模設備の導入（特に太陽光、風力発電）が必要である。

(千k1：再生可能エネルギーの導入量を原油に換算した量)



・指標2
再生可能エネルギー関連の工場立地件数

○現況値(H24)

4件

○H25目標値

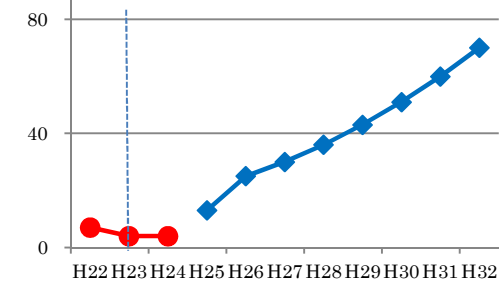
13件以上

○評価 値：おおむね順調

○評価の理由：

H24は前年と同数(4件)であったが、新分野事業でもあることから、ネットワークの構築や研究開発の支援など再エネ関連産業集積のための様々な取組が浸透することにより今後の増加が見込めるものとする。

(件数：H25からは累計値、用地面積1,000㎡以上で借地を含む)



・指標3
産学官共同研究実施件数

○現況値(H24)

3件

(H7からの累計値)

○H25目標値

6件以上

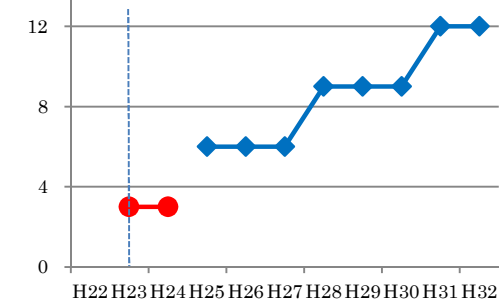
(H7からの累計値)

○評価 値：おおむね順調

○評価の理由：

H24から固定価格買取制度が導入され、県内でも再生可能エネルギーによる発電事業が進み、再エネ関連製品や技術の研究開発等に関する取組への機運が高まっている。今後は、県内4大学で地域イノベーション戦略支援プログラム事業などの取組も行われるなど、増加していくものとする。

(件数：H7からの累計値、再生可能エネルギー関連研究)



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①再生可能エネルギーシステムへの理解促進・需要喚起のため、さらなる取組の強化が必要です。
- ②再生可能エネルギーの導入を強力に推進するため、多くの種類の再生可能エネルギーシステムを幅広く導入することに加えて、大規模設備の導入が必要です。
- ③再生可能エネルギーによる発電事業の動きを企業立地や、産業集積に結びつけるため、人材育成、企業の新規参入に向けた産学官のネットワーク形成、研究開発など一体的な取組が必要です。

●政策分野の名称 **活力（４）雇用・産業人材の育成**

30年後
の
将来像

能力の高い人材が多数育成され、県内経済を支えています。
また、雇用環境・労働環境の改善が進み、ライフスタイルに合わせた働き方が浸透しています。

●代表的な取組の進捗状況

①産業人材の育成・能力開発

【製造技術の知識の習得に関する取組】

◆テクノアカデミーにおいて、地域産業のニーズを踏まえ、実践的な人材を育成するため、職業訓練を実施しています。



テクノアカデミーにおける
職業訓練

【経営者層・マネジメント層の育成に関する取組】

◆新たなビジネス展開を可能とする経営戦略、税務、財務、労務等の基本的な知識、コーディネート能力や経営全般を総合的に分析する能力等を身につけた人材を企業への派遣研修等により育成しています。

②労働環境の改善

【柔軟な就業形態の普及に関する取組】

◆次世代育成支援企業の認証をはじめ、ワーク・ライフ・バランスについてのアドバイザー派遣、表彰制度等により、仕事と生活の調和のとれた働きやすい職場環境づくりを促進しています。



労働相談

【労働相談に関する取組】

◆複雑・多様化している労働問題に的確に対処するため、労働相談を実施しています。
(H24実績：704件)

③雇用機会の創出・確保

【雇用創出に関する取組】

◆多様な雇用機会の創出及び産業施策と一体となった安定的な雇用の支援により、本県産業の復興と雇用の創出を図っています。
(H24実績：28,623人の雇用創出)

【新規高卒者・大卒者の就職活動支援に関する取組】

◆新規高卒者や新規大卒者等を対象とした合同企業面接会等により、企業理解の促進と若年者の県外流出の抑制等を図ります。
(H24新規高卒者就職内定率 99.3%)



合同就職面接会

◆企業研修やキャリア教育を通して、職業観の醸成等
を図ります。

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標1 技能検定合格者数</p> <p>○現況値(H24) 1,646人</p> <p>○H25目標値 1,900人以上</p>	<p>○評 価：順調ではない</p> <p>○評価の理由： H24の実績は、震災の影響を受けたH23から約200名増加し、一定の回復傾向にある。 H25においても同様に一定の回復は見込めるが、目標値到達は困難な状況である。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>技能検定合格者数 (人)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>1,750</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>1,450</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,650</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>1,900</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>1,950</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>2,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>2,050</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>2,100</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>2,150</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>2,200</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>2,250</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	1,750		H23	1,450		H24	1,650		H25		1,900	H26		1,950	H27		2,000	H28		2,050	H29		2,100	H30		2,150	H31		2,200	H32		2,250
年度	実績値	目標値																																				
H22	1,750																																					
H23	1,450																																					
H24	1,650																																					
H25		1,900																																				
H26		1,950																																				
H27		2,000																																				
H28		2,050																																				
H29		2,100																																				
H30		2,150																																				
H31		2,200																																				
H32		2,250																																				
<p>・指標2 正社員の有効求人倍率(原数値)</p> <p>○現況値(H24) 0.61</p> <p>○H25目標値 全国平均値以上</p>	<p>○評 価：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 全国平均(0.49)を上回ったものの、雇用環境は依然として厳しい状況がある。</p>	<p>1.0</p> <p>0.8</p> <p>0.6</p> <p>0.4</p> <p>0.2</p> <p>0.0</p> <p>全国平均値以上</p> <table border="1"> <caption>正社員の有効求人倍率(原数値)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>0.22</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>0.35</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>0.61</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>0.49</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>0.50</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>0.51</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>0.52</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>0.53</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>0.54</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>0.55</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>0.56</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	0.22		H23	0.35		H24	0.61		H25		0.49	H26		0.50	H27		0.51	H28		0.52	H29		0.53	H30		0.54	H31		0.55	H32		0.56
年度	実績値	目標値																																				
H22	0.22																																					
H23	0.35																																					
H24	0.61																																					
H25		0.49																																				
H26		0.50																																				
H27		0.51																																				
H28		0.52																																				
H29		0.53																																				
H30		0.54																																				
H31		0.55																																				
H32		0.56																																				
<p>・指標3 新規高卒者の県内就職率</p> <p>○現況値(H24) 78.7%</p> <p>○H25目標値 74.8%以上</p>	<p>○評 価：順調</p> <p>○評価の理由： 震災復興関連の求人の増加に伴う県内求人の増加の影響が大きいと考えられる。</p>	<p>(%)</p> <p>100</p> <p>90</p> <p>80</p> <p>70</p> <p>60</p> <table border="1"> <caption>新規高卒者の県内就職率 (%)</caption> <thead> <tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>78</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>71</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>78.7</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>74.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>75.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>76.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>77.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>78.5</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>79.5</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>80.5</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>81.5</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	78		H23	71		H24	78.7		H25		74.8	H26		75.5	H27		76.5	H28		77.5	H29		78.5	H30		79.5	H31		80.5	H32		81.5
年度	実績値	目標値																																				
H22	78																																					
H23	71																																					
H24	78.7																																					
H25		74.8																																				
H26		75.5																																				
H27		76.5																																				
H28		77.5																																				
H29		78.5																																				
H30		79.5																																				
H31		80.5																																				
H32		81.5																																				

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①医療関連産業・再生可能エネルギー関連分野等や、将来成長が見込まれる分野の産業人材の育成、技能継承のための若年技能者の育成・確保が必要です。</p> <p>②仕事と生活の調和のとれた職場環境づくりを促進するための取組について、広報・周知が必要です。</p> <p>③多様化している生徒の就職希望実現に向け、就職促進支援員相互の連絡体制の整備が必要です。</p> <p>④労働力の減少と県外流出を抑制するため、若年者の雇用促進と職場定着を図る必要があります。</p>

●政策分野の名称 **活力（５）観光・交流**

30年後
の
将来像

本県の観光資源の知名度が上昇し、国内外から多数の観光客が訪れています。
また、国際交流が進展し、国境を越えた人と人のネットワークが広がっています。

●代表的な取組の進捗状況

①国内観光

【本県のイメージ回復と観光客の誘致に関する取組】

- ◆大河ドラマキャンペーンを実施するなど、「八重の桜」を活用した正確な情報発信や観光誘客に取り組んでいます。
(実績：会津若松市大河ドラマ館入館者数 303,069 名(6月30日現在)など)

【教育旅行に関する取組】

- ◆福島県への教育旅行の再生を図るため、「震災を経験した福島県ならではの教育旅行プログラム」の開発などを進めています。



八重たん

②国際観光

【本県のイメージ回復と外国人観光客の誘致に関する取組】

- ◆風評の払拭と福島空港国際定期路線の再開を図るため、海外への情報発信やプロモーションを実施するとともに、通訳や多言語表記など県内の受入体制の整備促進に取り組んでいます。



福島空港

③定住・二地域居住などによる国内交流

【定住・二地域居住の情報提供・相談に関する取組】

- ◆本県への愛着や興味が高い方に対し、ふくしまファンクラブや東京有楽町の相談窓口の運営などにより、正しい情報の発信を行っています。(H24 実績：ふくしまファンクラブ会員数 2,249 人の増など)



田舎暮らしセミナー

④国際交流

【国際会議の誘致に関する取組】

- ◆風評払拭や本県のイメージ回復、地域経済の活性化等を図るため、国等と連携し、受入体制を調整しながら、国際会議等の誘致に取り組んでいます。
(H24 実績：28 件、6,236 名)



県内で開催された国際会議

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標1
観光客入込数

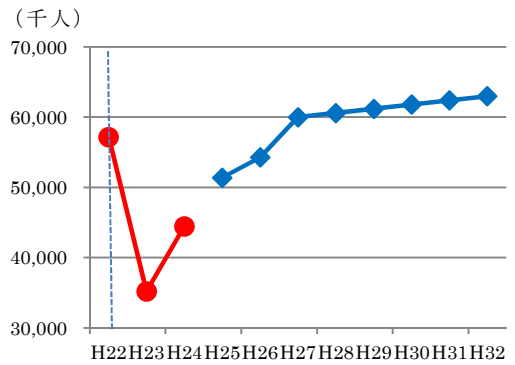
○現況値 (H24)

44,459 千人

○H25 目標値

51,400 千人以上

○評価 値：順調ではない
○評価の理由：
震災及び原子力事故による風評により、観光客の回復が遅れている。
H25は、大河ドラマ「八重の桜」により会津若松市を中心に観光客数が前年よりも増加することが予想される。



・指標2
県内の外国人宿泊者数

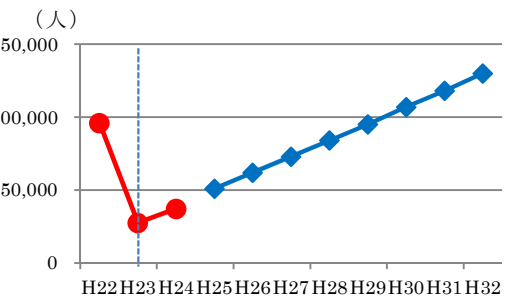
○現況値 (H24)

37,230 人

○H25 目標値

51,000 人以上

○評価 値：順調ではない
○評価の理由：
原子力災害を起因とする風評被害や渡航制限等により外国人観光客が激減しているため。



・指標3
ふくしまファンクラブ会員数

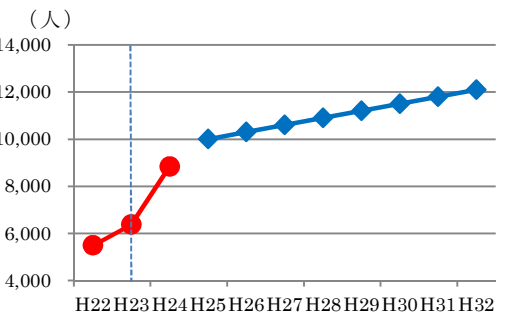
○現況値 (H24)

8,836 人

○H25 目標値

10,000 人以上

○評価 値：順調
○評価の理由：
H25.7.30現在で「11,864人」と目標値を超える伸びを見せていることから順調と評価する。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①「八重の桜」の誘客効果を県内各地へ波及させるための取組を行うとともに、放映終了後も切れ目なく観光復興の取組を進めていく必要があります。
- ②風評払拭に向け、本県の正確な情報を発信していく必要があります。
- ③引き続き福島空港の国際定期路線再開へ向けた取組が必要です。
- ④国際会議等の誘致に向けた全庁的な連携及び市町村との連携強化が必要です。

●政策分野の名称 **活力 (6) 交流基盤・物流基盤**

30年後の将来像

太平洋と日本海を結ぶ物流網・情報網が強化され、東北圏、首都圏、西日本、北海道などとの経済交流が盛んになっています。
また、福島空港、相馬港、小名浜港を拠点とした人やモノの流れが盛んになり、小名浜港は東日本有数の貿易港として発展しています。

●代表的な取組の進捗状況

①高速交通ネットワークの整備と活用

【東北中央自動車道の整備に関する取組】

◆浜通りの復興を加速させるため、国道115号相馬福島道路の早期開通を強く国に要望するとともに、整備促進に向け用地取得などを支援しています。

【会津縦貫道の整備に関する取組】

◆災害に強い幹線道路ネットワークを確保するため、会津縦貫道の整備を進めています。



会津縦貫南道路 (計画)

②骨格となる道路網の整備と活用

【地域連携道路の整備に関する取組】

◆広域的な物流や観光、地域医療などを担い、隣接する生活圏を相互に連絡する道路を整備しています。

【指定道路の整備に関する取組】

◆25t車両が安全で自由に通行できる指定道路等の整備を行い、物流の効率化やコスト低減を推進しています。



県道石川いわき線

③福島空港・小名浜港・相馬港の整備と活用

【ポートセールス活動に関する取組等】

◆小名浜港・相馬港の整備を進めるとともに、利用促進のため、県内外におけるセミナー開催や企業訪問など、積極的なポートセールス活動を行っています。

【福島空港の利用促進に関する取組】

◆福島空港の利用促進のため、団体旅行への助成や商品タイアップPRへの支援など送客促進に取り組んでいます。また、空港を広域防災拠点として活用することを検討します。



福島空港の全体路線

④情報通信基盤の整備と活用

【ブロードバンド・サービスに関する取組】

◆民間による高速・大容量のデータ通信が可能な環境整備が進まない地域において、市町村による環境整備に助成しています。

【自治体クラウドサービス導入に関する取組】

◆災害時も機能する自治体システムづくりのため、市町村の情報システムの共同化・集約化への対応等にかかる調査・検討を行っています。



ブロードバンドの普及

⑤鉄道の復旧と基盤強化

【JR常磐線、JR只見線の復旧・基盤強化に関する取組】

◆常磐線(相馬駅以北)復旧の用地取得のあっせん業務を県が受託し、JRと協力し早期取得完了に努めています。

◆只見線の早期復旧のため国・JRとの具体的な協議を行います。また、利用促進のため沿線自治体の活動に助成しています。



JR只見線 利活用の取組

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標1
七つの生活圏の中心都市間の平均所要時間

○現況値 (H24)

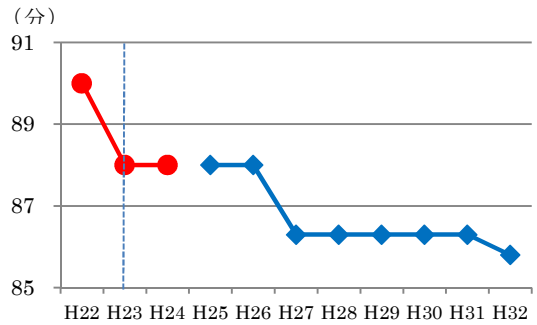
88 分

○H25 目標値

88 分

○評 価：順調

○評価の理由：
計画的な整備により着実に進んでいるが、今後とも地域の合意形成と予算の確保が必要である。



・指標2
大型トレーラー(総量25ト)が自由通行できる指定道路の整備延長

○現況値 (H24)

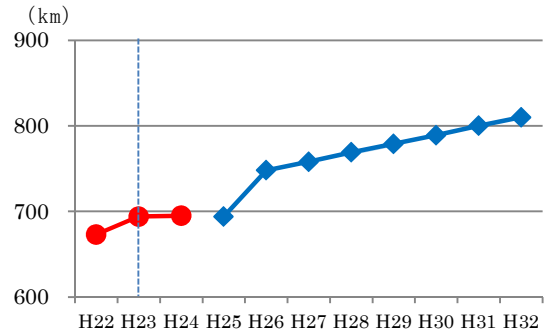
695 km

○H25 目標値

694 km 以上

○評 価：順調

○評価の理由：
耐荷力照査を実施しながら整備を進める必要がある。



・指標3
福島空港利用者数

○現況値 (H24)

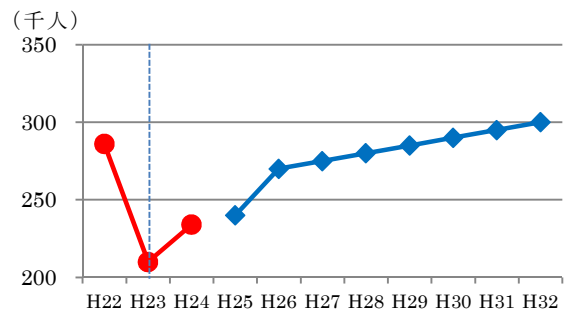
234 千人

○H25 目標値

240 千人

○評 価：おおむね順調

○評価の理由：
国内線は震災前の水準まで回復したが、国際線は運休中のためチャーター便のみに止まっている。ソウル、上海の定期便路線の早期回復が必要である。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①道路等整備に必要な財源を長期的、安定的に確保する必要があります。
- ②国直轄権限代行事業を含めて国と県の役割分担による事業推進が必要です。
- ③コンテナ貨物が回復していないため、ポートセールスの強化が必要です。
- ④福島空港の広域防災拠点として充実が必要です。
- ⑤条件不利地域の情報基盤整備、及び高齢者等の情報通信機器活用の促進による情報通信格差の是正が重要です。
- ⑥基幹的な交通基盤の常磐線、只見線の早期全線復旧が必要です。

●政策分野の名称 **安全と安心（1）健康づくり・健康管理**

**30年後
の
将来像**

健康づくりや介護予防の取組が浸透し、元気な高齢者が増えるとともに、健康寿命が伸びています。
また、全ての県民は原子力災害の不安から解放されています。

●代表的な取組の進捗状況

①**疾病予防と生涯を通じた健康づくり**

【がん検診に関する取組】

◆市町村が実施するがん検診の受診率向上のため、県民に対する個別受診勧奨の推進や、がん検診等普及ボランティアを育成します。

【介護予防に関する取組】

◆県民等に対して介護予防に関する広報誌を発行するとともに、介護予防従事者の資質向上を図るための研修会を実施しています。（H24 広報誌発行実績：6回）

◆高齢者の健康と生きがいづくりを推進するため、「すこやか福島ねんりんピック」や「福島県シルバー美術展」を開催しています。また、老人クラブ活動を支援しています。（H24 実績：51 市町村）



がん検診啓発

②**感染症の予防と感染の拡大防止対策**

【新型インフルエンザ等対策に関する取組】

◆新型インフルエンザ対策を図るため、関係機関と連携しながら、予防、感染拡大防止等を実施しています。

【肝炎対策・エイズ対策に関する取組】

◆HIV抗体検査及び肝炎ウイルス検査を無料で実施し、感染者の早期発見と県民の不安の除去に取り組んでいます。



インフルエンザ
予防対策啓発

③**東日本大震災・原子力災害の影響を踏まえた健康管理**

【県民健康管理調査に関する取組】

◆長期にわたり県民の健康を見守るため、引き続き基本調査や甲状腺検査等を実施しています。（H24 検査実績：163,264人）

【県立医科大学における放射線健康障害の診断・治療拠点整備に関する取組】

◆放射線医学に係る最先端の研究・診療拠点となる「ふくしま国際医療科学センター」の整備を進めています。（平成28年度に全面稼働予定）



ふくしま国際医療科学センター

④**保健を担う人材の確保**

【保健医療専門職の確保に関する取組】

◆保健医療専門職の人材確保を図り、被災者に対して栄養・食生活支援等の健康支援活動を行っています。
◆保健師等養成施設の在学者で、卒業後に県内の指定施設に従事しようとする者に、修学資金を貸与しています。



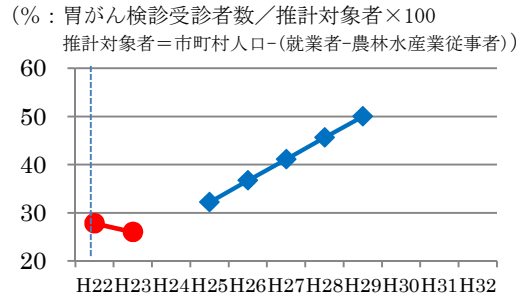
健康支援活動

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

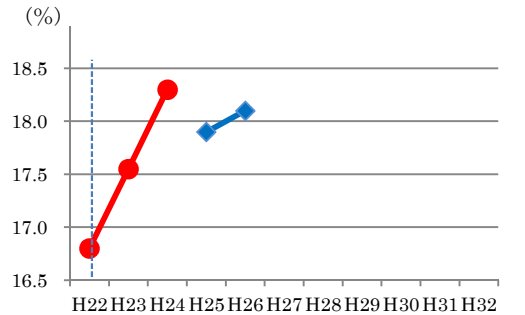
・指標 1
胃がん検診受診率
○現況値 (H23)
26.0 %
○H25 目標値
32.2 %

○評 価：順調ではない
○評価の理由：
H23の実績は、震災の影響もあり、受診率が26.0%と前年比1.8ポイントの減少となった。今後は避難者等が受診しやすい検診体制の整備が必要。



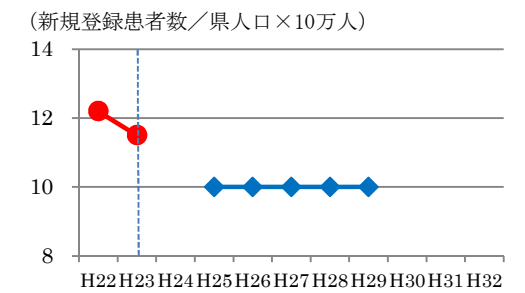
・指標 2
介護保険の要介護（要支援）に該当する高齢者の割合
○現況値 (H24)
18.3 %
○H25 目標値
17.9 %以下

○評 価：順調ではない
○評価の理由：
震災による避難の長期化に伴い、生活不活発症などに起因する要介護（要支援）高齢者が増加傾向にあり、目標をやや上回る数値になっている。



・指標 3
結核罹患率（人口10万人対）
○現況値 (H23)
11.5
○H25 目標値
10.0 以下

○評 価：おおむね順調
○評価の理由：
目標値を達成していないが、H23全国平均値(17.7)より低い罹患率で推移しており、新規登録者も減少傾向にある。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①健康づくりを推進するためには、生活習慣の改善、生活習慣病の早期発見・早期治療に結びつく検診等の受診率向上、疾病の重症化予防対策、社会環境等の改善を総合的に取り組む必要があります。
- ②感染症対策については、発生予防の啓発、予防接種の推進、発生時に迅速かつ的確に対応できる体制の整備等が必要です。
- ③県民健康管理調査については、調査・検査の迅速化や理解促進、身近な医療機関で検査等を受診し相談できる体制の整備が必要です。
- ④保健医療専門職が不足していることから、その人材確保が必要です。

●政策分野の名称 **安全と安心（2）医療**

30年後
の
将来像

県内全域で、必要な医療の提供体制が整っています。
また、本県の医療・創薬産業の発展と連動して、最先端の医療サービス
を享受することができるようになっていきます。

●代表的な取組の進捗状況

①医療提供体制の確保・充実

【救急医療に関する取組】

◆救急患者の救命率の向上及び後遺症の軽減等を図るため、ドクターヘリの運営に対して支援を行っています。

【献血の普及に関する取組】

◆医療機関に血液製剤の安定供給を図るため、若者を中心とした献血の普及啓発、ボランティア団体等の育成等を行い、献血者を確保していきます。
(H24実績：91,657人、目標の105%)

【地域医療再生計画に関する取組】

◆地域医療の復興・再生のため、三次救急医療機関及び二次救急医療機関等の機能強化や連携強化、救急医療を担う人材の資質向上等を行います。



ドクターヘリ



キビチーちゃん
(献血マスコット)

②医療従事者の確保と医療の質の向上

【医師確保、医師の県内への定着に関する取組】

◆東日本大震災で離職した医療従事者の流出防止を図り、医療の復興に繋げるため、県内医療機関に対し医療人材の雇用の確保、災害医療研修に係る経費等を支援しています。

【看護職員などの確保・離職防止に関する取組】

◆看護職員の安定的確保を図るため、無料の職業紹介、再就業支援研修会、看護補助者養成研修会等を実施しています。

【看護師の資質向上に関する取組】

◆高度化する医療に対応できる看護職を養成するため、実習教員の配置、教育機器の整備、研究活動に係る経費を支援しています。



就職相談会
(出典：福島県看護協会HP)

③浜通り地方の医療提供体制の再構築

【医療提供体制の再構築に関する取組】

◆病院機能の強化を図るため、CT、MRI等の整備、施設改修を実施しています。

(H24実績：5病院)

◆警戒区域等にあった医療機関の避難先における診療再開や運営を支援しています。

(H24実績：1病院4診療所)

◆地域の初期救急医療機関である休日夜間急病診療所の運営を支援しています。



MRI（核磁気共鳴画像法）

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標 1 医療施設従事医師数 (人口 10 万人対)</p> <p>○現況値 (H22) 182.6 人</p> <p>○H29 目標値 200.0 人以上</p>	<p>○評 価： —</p> <p>○現状の分析： H22 末現在では、182.6 人と全国平均 219 人を大きく下回り、全国順位も 41 位である。震災後は、医師が流出していることから、今後は更に厳しい状況が続くと考えられる。</p>	<p>(人：県内の医師数／県人口×10 万人)</p> <table border="1"> <caption>医療施設従事医師数 (人口 10 万人対)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>182.6</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>200.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	182.6		H23			H24			H25			H26			H27			H28			H29		200.0	H30			H31			H32		
年度	実績値	目標値																																				
H22	182.6																																					
H23																																						
H24																																						
H25																																						
H26																																						
H27																																						
H28																																						
H29		200.0																																				
H30																																						
H31																																						
H32																																						
<p>・指標 2 就業看護職員数 (人口 10 万人対)</p> <p>○現況値 (H22) 1,188.7 人</p> <p>○H29 目標値 1,228.4 人以上</p>	<p>○評 価： —</p> <p>○現状の分析： H22 末現在では、1,188.7 人（全国順位 27 位）と全国平均 1,089.9 人を上回っていたが、震災により看護職員が減少したため、数値の低下が予想される。</p>	<p>(人：県内の看護職員数／県人口×10 万人)</p> <table border="1"> <caption>就業看護職員数 (人口 10 万人対)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>1,188.7</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>1,228.4</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	1,188.7		H23			H24			H25			H26			H27			H28			H29		1,228.4	H30			H31			H32		
年度	実績値	目標値																																				
H22	1,188.7																																					
H23																																						
H24																																						
H25																																						
H26																																						
H27																																						
H28																																						
H29		1,228.4																																				
H30																																						
H31																																						
H32																																						
<p>・指標 3 救急搬送における医療機関への受入れ照会回数 4 回以上の事案件数</p> <p>○現況値 (H24) 483 件</p> <p>○H25 目標値 269 件以下</p>	<p>○評 価： 順調ではない</p> <p>○評価の理由： H23 と H24 を比較すると、重症以上傷病者の搬送人員は減少したが、照会回数 4 回以上の件数は増加している。 照会回数増加は、中通り、特に県中地方が顕著になっている。</p>	<p>(件)</p> <table border="1"> <caption>救急搬送における医療機関への受入れ照会回数 4 回以上の事案件数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>280</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>310</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>483</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>269</td></tr> <tr><td>H26</td><td>250</td><td></td></tr> <tr><td>H27</td><td>230</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>210</td><td></td></tr> <tr><td>H29</td><td>180</td><td></td></tr> <tr><td>H30</td><td>160</td><td></td></tr> <tr><td>H31</td><td>140</td><td></td></tr> <tr><td>H32</td><td>120</td><td></td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	280		H23	310		H24	483		H25		269	H26	250		H27	230		H28	210		H29	180		H30	160		H31	140		H32	120	
年度	実績値	目標値																																				
H22	280																																					
H23	310																																					
H24	483																																					
H25		269																																				
H26	250																																					
H27	230																																					
H28	210																																					
H29	180																																					
H30	160																																					
H31	140																																					
H32	120																																					

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①広大な県土に対応した救急搬送体制の充実及び救急医療を早期に提供できる体制が必要です。</p> <p>②地域医療を担う人材の不足は極めて厳しい状況であり、さらに原子力災害により医療従事者が流出しているため、医師・看護師等の確保が不可欠です。</p> <p>③避難指示区域の見直し等を踏まえ、住民の帰還にあたって必要な医療の確保、及び医療需要に応じた医療提供体制の強化が必要です。</p>

●政策分野の名称 **安全と安心（3）介護・福祉**

30年後の将来像

介護ネットワークの構築や介護ロボットの導入などにより、県内全域で効率的な介護サービスの提供体制が確保されています。
また、障がい者が日常生活・社会生活を営むために必要な支援を受けられる社会となっています。

●代表的な取組の進捗状況

①高齢者介護・福祉サービスの確保・充実

【介護サービス基盤の整備に関する取組】

◆老人福祉施設の整備や小規模介護施設等の緊急整備に対して支援しています。

(H24 老人福祉施設整備実績：6 法人 8 施設)

(H24 小規模介護施設整備実績：15 市町村 61 施設、1 法人 1 施設)

【介護人材の育成・確保・処遇改善に関する取組】

◆福祉・介護職の人材確保のため、事業所等の求人活動、職場における研修等を支援しています。

【仮設住宅・借上住宅の高齢者を対象とした介護サービスに関する取組】

◆仮設住宅や借り上げ住宅の高齢者の介護予防を図るため、リハビリテーションに関する相談会や運動指導を行っています。



介護者研修

②障がい者の日常生活及び社会生活の総合的支援

【障がい者の地域生活移行に関する取組】

◆障がい者が地域の中で自立した生活が送れるよう、精神的サポート、自立生活プログラム講座等の取組を支援しています。

【障がい福祉サービス基盤の整備に関する取組】

◆被災地及び避難先での障がい福祉サービスが不足しているため、アドバイザーの派遣、被災した障がい者に対する支援等を行っています。

【障がい者の一般就労の促進、工賃向上に関する取組】

◆障がい者の就労を促進するため、「障害者就業・生活支援センター」を設置し、生活に関する相談や支援を実施しています。

(H24 実績：登録者 2,100 名、相談件数 14,543 件)



障がい者就労支援
(出展：県社会福祉事業団HP)

③介護者の負担軽減

【認知症対策に関する取組】

◆増加する認知症高齢者に対応するため、認知症コールセンターにおける相談、地域支援関係者に対する資質向上の研修会、かかりつけ医に対する研修を実施しています。
(H24 認知症相談実績：254 件)

【居宅介護サービスの充実に関する取組】

◆ホームヘルパーの派遣、障がい者支援施設への短期入所に係る経費、共同生活住居のサービスに係る経費等の一部を支援しています。



訪問介護

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																		
<p>・指標1 特別養護老人ホームの定員数</p> <p>○現況値(H24) 9,799人</p> <p>○H25目標値 10,503人</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 職員の確保が難しくなっていることや建設費用の増加が一因となり、整備が遅れているところが見受けられるが、定員数は年々増加している。</p>	<p>(人：累計値)</p> <table border="1"> <caption>特別養護老人ホームの定員数 (累計値)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (人)</th> <th>目標値 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>8,900</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>9,400</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>9,800</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>10,500</td><td>10,503</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>11,800</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (人)	目標値 (人)	H22	8,900		H23	9,400		H24	9,800		H25	10,500	10,503	H26		11,800
年度	実績値 (人)	目標値 (人)																		
H22	8,900																			
H23	9,400																			
H24	9,800																			
H25	10,500	10,503																		
H26		11,800																		
<p>・指標2 ホームヘルプサービス利用回数 (高齢者千人一週間当たり)</p> <p>○現況値(H24) 96.1回/週</p> <p>○H25目標値 105.5回/週</p>	<p>○評価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： H23は震災の影響によって実績が減少したが、H24では増加し、震災前であるH22の実績よりも高い数値となった。</p>	<p>(回/週：(訪問介護年間利用回数÷52週) ÷ (高齢者人口÷1,000人))</p> <table border="1"> <caption>ホームヘルプサービス利用回数 (回/週)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (回/週)</th> <th>目標値 (回/週)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>88</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>85</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>96</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td>105</td><td>105.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>106</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (回/週)	目標値 (回/週)	H22	88		H23	85		H24	96		H25	105	105.5	H26		106
年度	実績値 (回/週)	目標値 (回/週)																		
H22	88																			
H23	85																			
H24	96																			
H25	105	105.5																		
H26		106																		
<p>・指標3 工賃(賃金)月額の実績</p> <p>○現況値(H24) 12,106円</p> <p>○H26目標値 20,000円以上</p>	<p>○評価 値：順調ではない</p> <p>○評価の理由： H24年度平均工賃は、12,106円であり、前年度と比較して692円向上したが、未だ前年度の全国平均(13,586円)を下回っている状況となっている。</p>	<p>(円：就労継続支援B型事業所の平均工賃)</p> <table border="1"> <caption>就労継続支援B型事業所の平均工賃 (円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (円)</th> <th>目標値 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>11,400</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>11,400</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>12,106</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>20,000</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (円)	目標値 (円)	H22	11,400		H23	11,400		H24	12,106		H25			H26		20,000
年度	実績値 (円)	目標値 (円)																		
H22	11,400																			
H23	11,400																			
H24	12,106																			
H25																				
H26		20,000																		

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①福祉・介護の人材不足が深刻であり、その人材確保のため、職場における労働環境の整備、キャリアアップ支援等が必要です。</p> <p>②本県の障がい者就労系施設の工賃月額(H24：12,106円)は、全国平均の工賃月額(H23：13,586円)を下回っているため、工賃水準の向上に向けて、事業所経営者の意識改革、商品の品質向上、販路拡大等が必要です。</p> <p>③高齢者の増加により在宅の認知高齢者の増加が予想されるため、地域住民等による見守り支援、認知症ケアの進歩に対応した質の高い研修が必要です。</p>

●政策分野の名称 **安全と安心（４）日常生活の安全と安心**

30年後
の
将来像

治安対策、防火対策、交通安全対策、食品の安全対策などが適切に行われ、日常生活の安全と安心が確保されています。

●代表的な取組の進捗状況

①地域社会全体での治安、防火、交通安全対策

【自主防犯対策に関する取組】

- ◆自主防犯に関する意識の浸透を図るため、関係機関、団体等と連携した合同パトロール活動、広報・啓発活動、少年の健全育成及び非行防止に向けた子ども見守り活動などを実施しています。



消防団への入団促進

【薬物乱用防止対策に関する取組】

- ◆薬物乱用防止のため、麻薬等の立入検査、啓発活動、相談窓口の開設等を実施しています。
(H24 麻薬の立入検査実績：1,216件)

【消防団員の確保に関する取組】

- ◆消防団活動に対する理解促進や防火思想の普及啓発の取組を支援しています。



歩行環境シミュレーターによる参加・体験型交通教室

【交通事故の防止に関する取組】

- ◆交通安全県民大会、仮設住宅等における交通安全教育、広報啓発活動等を実施し、交通事故防止を推進しています。

②食の安全・生活衛生の向上

【放射性物質からの食品の安全確保に関する取組】

- ◆市場等に流通する食品等についての安全性を確認するため、県産農林水産物を原料とする加工食品の放射性物質検査を実施しています。

【放射性物質検査体制の整備などに関する取組】

- ◆住民自らが検査し確認できる体制を構築するため、市町村に放射能簡易分析装置を配備しています。
- ◆放射能や食の安全性をテーマとした講習会等を実施し、消費者の理解促進に取り組んでいます。
(H24 実績：シボジウム等 11回 (823名参加)、説明会 38回 (1,446名参加))



食と放射能に関するリスクコミュニケーション

【水道の衛生対策に関する取組】

- ◆飲料水の安全と安心を確保するため、飲料水を対象とした放射性物質モニタリング検査を実施し、検査結果を速やかに公表しています。

③消費生活における安全・安心の確保

【消費生活相談に関する取組】

- ◆消費生活における被害防止と安全確保を図るため、消費生活相談、悪質事業者に対する行政処分等を実施しています。

【医薬品、健康食品の正しい地域の普及啓発に関する取組】

- ◆医薬品の安全を確保するため、苦情相談室を設置するとともに、正しい知識の啓発を行っています。
(H24 実績：100件の苦情・相談)



相談員による消費生活相談対応

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標 1
交通事故死傷者数

○現況値 (H24)

12,277 人

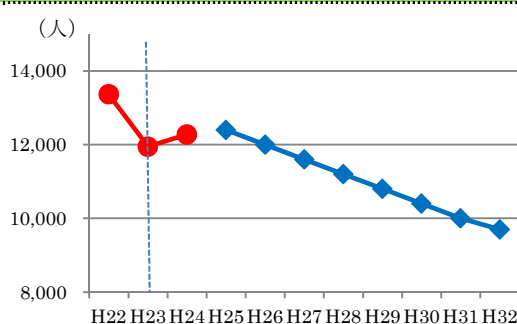
○H25 目標値

12,400 人以下

○評 価：おおむね順調

○評価の理由：

H24 の死傷者数 (12,277 人) は前年と比較して増加したものの、H25 の目標値を前倒して達成している。



・指標 2
食品と放射能に関するリスクコミュニケーションの実施件数

○現況値 (H24)

49 回

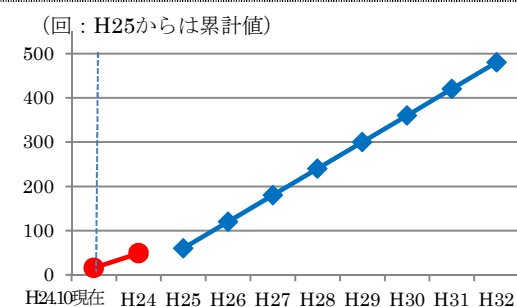
○H25 目標値

60 回以上

○評 価：おおむね順調

○評価の理由：

継続的な開催の要望や具体的なテーマの提案など、消費者の関心が高いため、消費者のニーズに沿いながら開催していく。



・指標 3
消費生活に関する相談員がいる市町村数

○現況値 (H24)

10 市町村

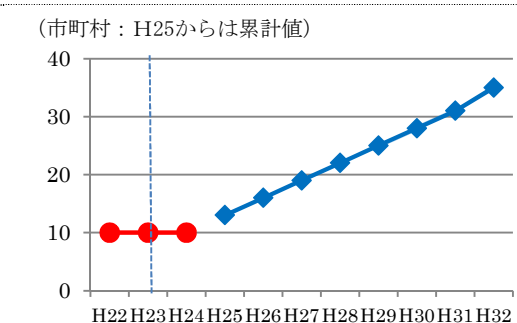
○H25 目標値

13 市町村以上

○評 価：順調ではない

○評価の理由：

市町村に対して相談窓口体制強化の働きかけを行っているが、行政需要 (相談件数) の観点から設置について必要性を感じない、消費生活センター開所後のランニングコストに対する財源不足の問題等の回答があり、増加していない。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①高齢者の交通事故死者数が全死者数の過半数を占めており、今後も少子高齢化が進むことが想定されるため、高齢者事故防止対策が必要です。
- ②放射能への疑問や不安が十分に解消されていないため、県民の声に寄り添うとともに、引き続き正しい知識や情報の周知が必要です。
- ③年々、複雑化、多様化する消費者被害を防止するため、適切な情報提供とともに消費者が自ら判断する能力の育成が必要です。

●政策分野の名称 安全と安心（5）原子力災害対策

**30年後
の
将来像**

原子力災害が収束し、放射性物質による環境汚染への対処が行われ、県内全域は放射線から安全な地域となっています。
また、原子力災害に起因する風評が払しょくされ、福島県のイメージが向上しています。

●代表的な取組の進捗状況

①廃炉までの安全確保と緊急事態への備え

【工程表の進捗状況の監視に関する取組】

◆県独自の組織として設置した、関係市町村と専門家とで構成する「福島県原子力発電所の廃炉に関する安全監視協議会」により、引き続き廃炉に向けた取組状況を確認していきます。



廃炉安全監視協議会による現地調査

②各種モニタリングを始めとする原子力災害に関する正確な情報発信

【環境放射線モニタリングに関する取組】

◆発電所周辺の環境影響監視体制を強化するほか、全県的な生活環境における環境放射能モニタリングのため、引き続き空間放射線の測定や大気浮遊じん等の環境試料の核種分析を実施しています。



固定式モニタリングポスト

③効果的・効率的な除染

【除染特別地域以外の地域の除染に関する取組】

◆放射性物質汚染対処特措法に基づき、市町村の策定した除染実施計画により行う除染対策や仮置場の設置など、市町村等が行う除染事業を総合的に支援しています。



住宅除染（雨どい堆積物除去）

④汚染廃棄物などの適正な処理

【災害廃棄物処理に関する取組】

◆東日本大震災における災害廃棄物を迅速に処理するため、市町村が行う災害廃棄物の収集、運搬及び処分費用の一部を支援しています。



仮設焼却炉の設置

⑤復興のための研究開発拠点整備

【環境回復・創造に関する取組】

◆県民が安心して暮らせる環境を創造するとともに、世界に冠たる国際的研究拠点を目指す環境創造センター（仮称）の効果的・効率的な運営に向けて、学識経験者等による検討を進め、年内を目途に検討結果を取りまとめます。



環境創造センター（仮称）建設予定地の視察

⑥原子力損害賠償の完全実施と円滑な賠償請求の支援

【福島県原子力損害対策協議会に関する取組】

◆原子力発電所事故により被った被害の実態に見合った賠償が確実、迅速、十分になされるよう、福島県原子力損害対策協議会の運営、要望活動、関係機関との連絡調整等を行っています。



福島県原子力損害対策協議会「全体会議」（平成25年4月25日）

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標 1 市町村除染地域における除染実績

○現況値 (H24)

21.5 %

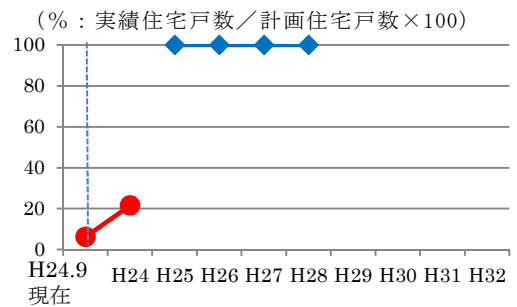
○H25 目標値

100.0 %

○評 価：順調ではない

○評価の理由：

市町村の除染実施体制が整い発注が円滑に進みつつあるものの、仮置場の確保や除染業務従事者等の確保などに課題がある。



・指標 2 東日本大震災に係る災害廃棄物の処理・処分率

○現況値 (H24)

41.8 %

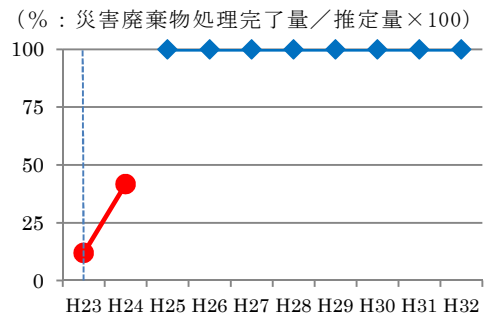
○H25 目標値

100.0 %

○評 価：順調ではない

○評価の理由：

国のマスタープランにおいてH25年度末に処理を完了することとしているが、H24年度末で約4割しか処理が進んでいない。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①福島第一原子力発電所は、県民の不安を招くトラブルが続いており、廃炉に向けた取組を安全かつ着実に進める必要があります。
- ②除染の加速化に向け、住民理解を進めながら仮置場を設置していく必要があります。また、国において進められている中間貯蔵施設の現地調査については、専門家の意見を伺いながら地元自治体とともにその内容を確認していく必要があります。
- ③汚染廃棄物などの処理が依然として円滑に進んでいないため、最終処分先を確保する必要があります。
- ④引き続き、生活や事業の再建を果たすことができる十分な賠償の実現に向けて、取り組む必要があります。

●政策分野の名称 **安全と安心（6）大規模災害対策・危機管理体制**

30年後
の
将来像

大規模災害などに備えて、防災・減災対策が強化されています。また、災害発生時に適切な初動対応ができるように、行政と住民が一体となった訓練や情報インフラの整備が行き届いています。

●代表的な取組の進捗状況

①防災・減災対策の強化

【防災教育・防災訓練に関する取組】

- ◆防災関係機関の連携強化と地域住民の防災意識高揚のため、防災訓練を実施するとともに、発災から流通機能回復までの期間の物資提供を迅速に行えるよう、スーパーやコンビニ等と物資等の調達に関する災害時応援協定を締結しています。併せて、迅速な情報収集のため、全市町村分の衛星携帯電話を各地方振興局に配備するとともに、必要に応じて情報連絡員を派遣します。



防災訓練(浜通り地域)

【津波対策、治水対策、土砂災害対策に関する取組等】

- ◆震災を教訓に、建築物の耐震化や治水・土砂災害対策等を促進させるとともに、津波被害を軽減する機能を有する防災緑地や海岸堤防、海岸防災林等の整備を進めています。

②社会基盤の維持・管理・強化

【老朽化した社会基盤の長寿命化対策・維持管理に関する取組等】

- ◆震災時の安全な交通確保と維持管理費の低減のため、道路施設の長寿命化を計画的に実施しています。(H24実績：橋りょう158箇所など)



橋梁の長寿命化対策(施工後)

【防災上重要な施設の耐震化などに関する取組】

- ◆震災時の医療体制の確保を図るため、災害拠点病院の耐震改修工事等を進めています。(H24実績：5病院)

③危機管理体制の強化

【広域避難支援体制の強化に関する取組】

- ◆市町村における福祉避難所の指定を促進させるため、関係機関・団体等へ福祉避難所の指定・運営方法等に関する研修を実施しています。



DMA T(災害派遣医療チーム)の活動

【災害派遣医療チーム(DMAT)に関する取組】

- ◆大規模災害時に医療救護活動が迅速かつ的確に行えるよう、災害拠点病院における医療資器材等の整備等を支援するとともに、DMAT隊員養成研修等を実施しています。

④震災教訓の継承・風化防止

【東日本大震災・原子力災害の資料などの収集・保存・継承に関する取組】

- ◆東日本大震災に関連する資料等を収集・保存するとともに、仮設校等への移動図書館車の巡回や展示等により、広く情報を提供する事業を実施しています。

【東日本大震災・原子力災害の風化防止に関する取組】

- ◆震災教訓の継承のため震災記録誌を発行しています。また、風化防止については、国際会議や各種イベント等での被災状況や復興に向けた取組の展示、SNSを活用した発信などさまざまな取り組みを行っています。



東日本大震災の記録

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標 1 橋梁耐震補強整備率 (緊急輸送路)</p> <p>○現況値 (H24) 99 %</p> <p>○H25 目標値 98 %以上</p>	<p>○評 価 値：順 調</p> <p>○評価の理由： H24 耐震化実績が、計画を上回っており、今後も順調な事業進捗を図れるものと考えられるため。</p>	<p>(%：緊急輸送路で耐震対策が必要な15m以上の橋梁254橋)</p> <table border="1"> <caption>橋梁耐震補強整備率 (緊急輸送路)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>97.0</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>98.0</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>99.0</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>98.0</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>99.0</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>100.0</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>100.0</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	H22	97.0		H23	98.0		H24	99.0		H25		98.0	H26		99.0	H27		100.0	H28		100.0	H29		100.0	H30		100.0	H31		100.0	H32		100.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																																				
H22	97.0																																					
H23	98.0																																					
H24	99.0																																					
H25		98.0																																				
H26		99.0																																				
H27		100.0																																				
H28		100.0																																				
H29		100.0																																				
H30		100.0																																				
H31		100.0																																				
H32		100.0																																				
<p>・指標 2 防災緑地設置箇所数</p> <p>○現況値 (H24) 0 箇所</p> <p>○H27 目標値 10 箇所以上</p>	<p>○評 価 値：おおむね順調</p> <p>○評価の理由： H25 までに全10地区の詳細設計の完了見込みであり、また、用地取得は、今年度新たに4地区着手し、取得不要の四倉地区を除く9地区で着手済みである。今後、用地取得を進め、順次着工していく予定であるため(平成25年6月末現在)。</p>	<p>(箇所)</p> <table border="1"> <caption>防災緑地設置箇所数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (箇所)</th> <th>目標値 (箇所)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>0</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>10</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>10</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (箇所)	目標値 (箇所)	H22	0		H23	0		H24	0		H25		0	H26		0	H27		10	H28		10	H29		10	H30		10	H31		10	H32		10
年度	実績値 (箇所)	目標値 (箇所)																																				
H22	0																																					
H23	0																																					
H24	0																																					
H25		0																																				
H26		0																																				
H27		10																																				
H28		10																																				
H29		10																																				
H30		10																																				
H31		10																																				
H32		10																																				
<p>・指標 3 福祉避難所の指定市町村数</p> <p>○現況値 (H24) 13 市町村</p> <p>○H25 目標値 34 市町村以上</p>	<p>○評 価 値：順調ではない</p> <p>○評価の理由： 県内全59市町村における福祉避難所の指定率が、未だ22% (13市町村)と全国平均(56.4%平成24年9月現在)を大きく下回っているため。</p>	<p>(市町村数：県内59市町村)</p> <table border="1"> <caption>福祉避難所の指定市町村数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (市町村数)</th> <th>目標値 (市町村数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H23</td><td>0</td><td></td></tr> <tr><td>H24</td><td>13</td><td></td></tr> <tr><td>H25</td><td></td><td>34</td></tr> <tr><td>H26</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H28</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H29</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H30</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H31</td><td></td><td>59</td></tr> <tr><td>H32</td><td></td><td>59</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (市町村数)	目標値 (市町村数)	H22	0		H23	0		H24	13		H25		34	H26		59	H27		59	H28		59	H29		59	H30		59	H31		59	H32		59
年度	実績値 (市町村数)	目標値 (市町村数)																																				
H22	0																																					
H23	0																																					
H24	13																																					
H25		34																																				
H26		59																																				
H27		59																																				
H28		59																																				
H29		59																																				
H30		59																																				
H31		59																																				
H32		59																																				

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①避難の広域化・長期化により、自主防災組織等の地域コミュニティが低下しており、組織率の向上に努めていく必要があります。</p> <p>②人命や財産を守る海岸堤防や海岸防災林等の整備を加速させるため、不足している建設資材や労働力の確保に加えて、用地取得を円滑に行えるような制度が必要です。</p> <p>③道路等の施設の長寿命化を図るため、適正な点検、診断に基づいた計画的な対策の実施が必要です。</p> <p>④災害時要援護者避難支援個別計画について、未だ半数以上の市町村で策定されていないため、課題や成功事例などを参考に計画策定を支援していく必要があります。</p> <p>⑤災害記録・教訓を後世に継承し、かつ、被災の事実を風化させないように、効果的な情報の発信と共有化が必要です。</p>

●政策分野の名称 **思いやり（1）人権・男女共同参画社会**

30年後
の
将来像

家庭、学校、職場、地域など、あらゆる場面で性別にかかわらず、男女が自らの能力を発揮できる社会となっています。
また、能力、国籍、文化など、個人の特性の違いに対して包容力の高い社会となっています。

●代表的な取組の進捗状況

①人権の尊重、人権意識の向上

【偏見や差別の解消に関する取組】

- ◆広く県民に「人権への“気づき”」の機会を提供し、理解を深めてもらうため、人権のつどいの実施など各種啓発事業と広域的啓発を行っています。

(H24 人権のつどい参加実績：454人)

【児童虐待対策に関する取組】

- ◆児童虐待の未然防止及び迅速かつ適切な対応に向けて、関係機関の連携、児童相談所の専門性及び市町村支援の強化を図っています。

(H24 実績：保育従事者等研修 100名など)



人権のつどい

②男女共同参画社会の形成

【家庭や地域での男女共同参画の推進に関する取組】

- ◆「男女共同参画社会」形成のための実践的活動拠点である県男女共生センターにおいて、普及啓発など各種事業を実施しています。

(H24 実績：一般相談件数 789件など)



県男女共生センター

③地域社会の国際化

【多文化共生社会の推進に関する取組】

- ◆外国出身県民が抱える様々な問題に対応するため、相談窓口として外国出身県民総合サポートセンターを開設しています。

(H24 実績：相談件数 416件など)

- ◆外国人住民にかかる現状や人権、多文化共生社会の構築などに関する冊子の作成等を実施し、外国人住民の人権に関する県民の理解を促進しています。



三者通訳電話（トリオフォン）

④ユニバーサルデザインを生かした社会づくり

【ユニバーサルデザインの普及啓発に関する取組】

- ◆ふくしま型ユニバーサルデザインの普及と実践促進を図るため、市町村職員等を対象にした研修会を開催しています。

(H24 実績：参加約 80名など)

【社会基盤の整備におけるユニバーサルデザイン推進に関する取組】

- ◆条例の整備基準に適合する施設に対し、やさしさマークを交付しています。

(H24 実績：交付 410件など)



やさしさマーク

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値
<p>・指標 1 児童虐待相談受付件数</p> <p>○現況値 (H24) 290 人</p> <p>○H25 目標値 適切に対応する。</p>	<p>○評 価： —</p> <p>○現状の分析： 震災が要因と考えられる増加傾向が見られる。今後とも、虐待の未然防止に向けて関係機関とより一層緊密に連携し、適切に対応する必要がある。</p>	
<p>・指標 2 市町村における男女共同参画計画の策定率</p> <p>○現況値 (H24) 45.8 %</p> <p>○H25 目標値 45.8 %以上</p>	<p>○評 価： おおむね順調</p> <p>○評価の理由： 都市部での策定は進んでいるが、町村での策定が進んでいない。このため、未策定町村に策定の必要性を説明していく。</p>	
<p>・指標 3 ユニバーサルデザインに関する県民の認知度</p> <p>○現況値 (H24) 71.6 %</p> <p>○H25 目標値 73.0 %以上</p>	<p>○評 価： —</p> <p>○現状の分析： H20 調査（前々回）の 45.2%から H24 調査（前回）では、26.4ポイントも認知度が上昇しており、県民のユニバーサルデザインという「言葉」自体の認知はかなりあがっているが、今後は、ユニバーサルデザインの意味についても県民の理解を深めるような取組が必要となる。</p>	

●現段階の問題点・改善等が必要な項目
<p>①様々な差別や虐待が発生していることから、県民一人一人の人権意識を高めるための人権啓発が必要です。</p> <p>②災害対応や防災等、あらゆる政策、方針決定過程への女性の参画が必要です。</p> <p>③「ユニバーサルデザインに関する県民の認知度」が、平成 24 年度調査で 71.6%でしたが、考え方や意味を含めた認知度は低い状況にあり、引き続き啓発が必要です。</p>

●政策分野の名称 **思いやり（2）思いやりと支え合い**

30年後
の
将来像

人の優しさや温かさを実感できる社会となっているとともに、生活再建や事業再建など再チャレンジの機会が充実しています。
全ての県民は、家族、人、地域の愛と絆に包まれています。

●代表的な取組の進捗状況

①寛容で、すべての人に優しい社会づくり

【自殺問題・うつ病の理解促進に関する取組】

◆保健福祉事務所等において、悩みを抱える人に気づき必要な支援につなげるゲートキーパー（命の門番）を育成するなど、自殺予防活動を推進しています。

【心の健康にかかる相談体制の整備に関する取組】

◆「東日本大震災中央子ども支援センター」を活用し、県外避難者を含め、震災により様々なストレスを受けた子どもたちやその保護者等を支援しています。
(H24実績：県外避難者交流会 51回など)



避難母子サロン

②援助を必要とする人たちへの支援

【生活保護に関する取組】

◆生活に困っている方々に対し、状況に応じた必要な保護を行うとともに、自立を援助するために就労や子育てに関する支援を実施しています。
(H24実績：1,640世帯)

【犯罪被害者の支援に関する取組】

◆SACRA ふくしま（性暴力等被害救援協力機関）の運用をはじめ、犯罪被害者の実態や支援の必要性を周知・啓発する活動を行っています。



「PANSAKU」のヴォーカルばんさんより ～被害者支援～

③地域社会における人と人の絆の再構築

【高齢者の生活支援、孤立死防止に関する取組】

◆東日本大震災の被災地及び被災地からの避難者を受け入れている地域において、地域の支援体制の構築等を行うことにより、地域コミュニティの復興を支援しています。
(H24実績：29社会福祉協議会に生活支援相談員 196人を配置など)



高齢者見守り活動

④被災者の心のケア

【被災者のストレスケアに関する取組】

◆心のケアの拠点として「ふくしま心のケアセンター」を県内6方部に設置し、被災者に対する地域精神保健活動を行っています。
(H24実績：心の健康講話参加者 15,439名など)

【避難者を対象とした生活相談に関する取組】

◆仮設住宅等で生活している避難住民が健康的な生活を維持していくことができるよう、被災者に対する健康支援活動を行っています。
(H24実績：看護職家庭訪問 45回・427件など)



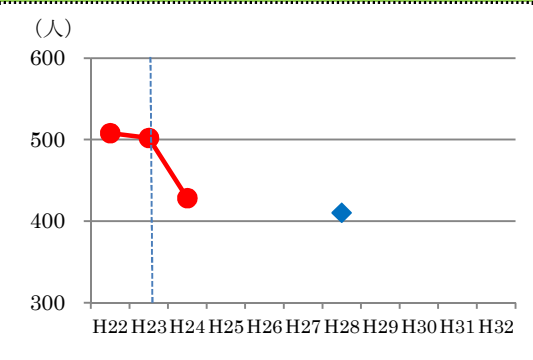
被災者相談ダイヤル

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

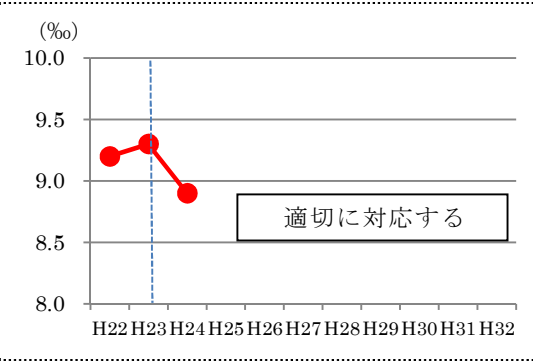
・指標1
自殺者数
○現況値(H24)
428人(概数)
○H28目標値
410人以下

○評価 値：おおむね順調
○評価の理由：
前年度と比較して約70人減少している。
過去の震災では、震災後、数年が経過してから自殺者数が増加したことから、今後とも自殺対策の充実を図っていく必要がある。



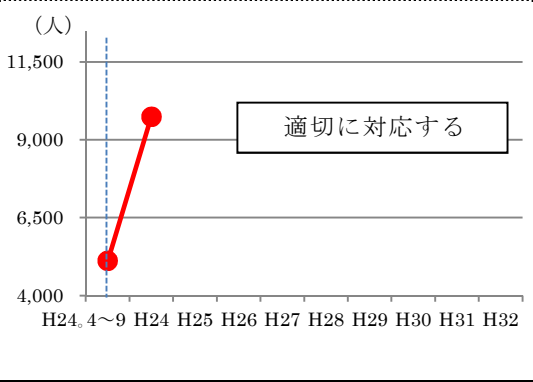
・指標2
生活保護率
○現況値(H24)
8.9%(県計)
○H25目標値
適切に対応する

○評価 値： -
○現状の分析：
H24は、原発事故等による義援金、賠償金等の受領や、震災復興事業の増加等を背景とした雇用情勢の改善傾向が続いていることから、生活保護率は減少となった。



・指標3
ふくしま心のケアセンターにおける年間相談支援件数
○現況値(H24)
9,740人
○H25目標値
適切に対応する

○評価 値： -
○現状の分析：
ニーズが把握できた被災者に対する訪問活動や健康教育は実施できているが、避難の長期化を踏まえ、さらに支援の充実を図る必要がある。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

- ①自殺未遂者に対する救急医療現場での精神的ケア体制の充実を図る必要があります。
- ②犯罪被害者支援の必要性・重要性について、県民の理解はまだ十分とは言えないことから、さらに広報・啓発を図る必要があります。
- ③避難生活が長期化する中であって、ふるさととの絆を維持し、ふるさとの戻りたいと考えている人の将来的な帰還に繋げるため、支援活動の継続と情報発信の充実が必要です。

●政策分野の名称 **思いやり（3）自然環境・景観の保全、継承**

30年後
の
将来像

豊かな山、川、海、湖沼に代表される美しい自然環境、さわやかな空気、清らかな水が保全され、自然と共生する社会が実現しています。
また、自然景観、歴史と伝統が息づく景観、街並みの景観が継承されています。

●代表的な取組の進捗状況

①自然環境の保護と適正な利用

【自然公園などの保護と適正な利用に関する取組】

- ◆自然公園等の保護と適正な利用を総合的に推進するため、保護管理、巡視指導、自然保護思想の普及啓発等を実施しています。

(H24実績：自然保護指導員 109名任命など)

【自然とのふれあい拠点、ふれあい活動に関する取組】

- ◆住民の憩いの場や災害時の避難地等となる都市公園を整備するとともに、老朽化施設の更新等を推進しています。
- ◆県民が自然とふれあう拠点の機能充実を図るとともに、森林ボランティア団体や緑の少年団の活動を支援しています。

(H24支援実績：14団体)



自然公園での植生復元作業(浄土平)

②美しい景観の保全と継承

【道路・河川の美化活動に関する取組】

- ◆河川愛護団体の活動をサポートし、河川環境の美化を推進します。

(H24実績：河川道路美化 延 27万人)

【震災で被害を受けた自然・街並みなどの景観再生に関する取組】

- ◆地域住民や企業等が主体的に参画して行う復興まちづくりに対して、課題解決を支援する専門家を派遣しています。



河川のクリーンアップ作戦(湯川)

③生物多様性の保全

【野生鳥獣の保護管理に関する取組】

- ◆傷病野生鳥獣の救護や鳥獣保護区の設定、保護員の配置などにより、鳥獣の保護繁殖に取り組んでいます。
- ◆野生動物専門員を配置し、生物多様性の保全や人と野生動物との共生に向けた取組を実施しています。

【災害の生態系への影響調査に関する取組】

- ◆食用に供される狩猟鳥獣の放射性核種濃度調査を定期的、継続的に実施しています。

(H24実績：394検体)



野生動物の治療(鳥獣保護センター)

④環境保全対策

【猪苗代湖を始めとする水環境保全に関する取組】

- ◆猪苗代湖の水環境を保全するため、様々なボランティア活動等を推進するとともに、高度処理浄化槽の整備や水質保全に関わる調査研究等に取り組んでいます。

【環境教育・環境学習に関する取組】

- ◆震災後も引き続き、子どもの健全育成等を図るため、ふくしまっ子体験活動応援事業など、自然体験活動や交流活動等を支援しています。

(H24実績：利用者 181,331人)



自然体験・交流活動(郡山自然の家)

●指標の進捗状況		●実績値 ◆目標値																																				
<p>・指標1 自然公園の利用者数</p> <p>○現況値(H23) 8,771 千人</p> <p>○H25 目標値 16,200 千人以上</p>	<p>○評価 値：順調ではない (千人)</p> <p>○評価の理由： 震災直後(H23)は大幅に利用者が減少した。H24は会津・南会津地方を中心に、ある程度の回復があったが、今後、目標値を達成するには困難が予想される。</p>	<table border="1"> <caption>自然公園の利用者数 (千人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>15,000</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H23</td><td>8,771</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H24</td><td>9,000</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>16,000</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>16,500</td><td>16,000</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	15,000	16,000	H23	8,771	16,000	H24	9,000	16,000	H25	16,000	16,000	H26	16,500	16,000	H27	16,500	16,000	H28	16,500	16,000	H29	16,500	16,000	H30	16,500	16,000	H31	16,500	16,000	H32	16,500	16,000
年度	実績値	目標値																																				
H22	15,000	16,000																																				
H23	8,771	16,000																																				
H24	9,000	16,000																																				
H25	16,000	16,000																																				
H26	16,500	16,000																																				
H27	16,500	16,000																																				
H28	16,500	16,000																																				
H29	16,500	16,000																																				
H30	16,500	16,000																																				
H31	16,500	16,000																																				
H32	16,500	16,000																																				
<p>・指標2 汚水処理人口普及率</p> <p>○現況値(H23) 75.3 %</p> <p>○H25 目標値 78.6 %以上</p>	<p>○評価 値：-</p> <p>○現状の分析： 流域幹線及び汚水処理施設(下水道、農業集落排水、合併浄化槽等)の整備が進んでいることから、確実に放流水質の保全が行われている。</p>	<p>(% : 汚水処理施設の利用可能人口 ÷ 行政人口 × 100)</p> <table border="1"> <caption>汚水処理人口普及率 (%)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>75.3</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H23</td><td>75.3</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H24</td><td>78.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>79.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H26</td><td>80.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>81.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H28</td><td>82.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>83.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H30</td><td>84.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H31</td><td>85.0</td><td>78.6</td></tr> <tr><td>H32</td><td>86.0</td><td>78.6</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	75.3	78.6	H23	75.3	78.6	H24	78.0	78.6	H25	79.0	78.6	H26	80.0	78.6	H27	81.0	78.6	H28	82.0	78.6	H29	83.0	78.6	H30	84.0	78.6	H31	85.0	78.6	H32	86.0	78.6
年度	実績値	目標値																																				
H22	75.3	78.6																																				
H23	75.3	78.6																																				
H24	78.0	78.6																																				
H25	79.0	78.6																																				
H26	80.0	78.6																																				
H27	81.0	78.6																																				
H28	82.0	78.6																																				
H29	83.0	78.6																																				
H30	84.0	78.6																																				
H31	85.0	78.6																																				
H32	86.0	78.6																																				
<p>・指標3 尾瀬で自然環境学習を行った県内児童・生徒数</p> <p>○現況値(H24) 1,132 人</p> <p>○H25 目標値 1,000 人以上</p>	<p>○評価 値：順調</p> <p>○評価の理由： 県内各地から児童・生徒の参加があり、順調に人数が増加しているため。</p>	<p>(人)</p> <table border="1"> <caption>尾瀬で自然環境学習を行った県内児童・生徒数 (人)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H22</td><td>150</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H23</td><td>800</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H24</td><td>1,132</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H25</td><td>1,000</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H26</td><td>1,100</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H27</td><td>1,100</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H28</td><td>1,200</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H29</td><td>1,200</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H30</td><td>1,300</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H31</td><td>1,300</td><td>1,000</td></tr> <tr><td>H32</td><td>1,400</td><td>1,000</td></tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	H22	150	1,000	H23	800	1,000	H24	1,132	1,000	H25	1,000	1,000	H26	1,100	1,000	H27	1,100	1,000	H28	1,200	1,000	H29	1,200	1,000	H30	1,300	1,000	H31	1,300	1,000	H32	1,400	1,000
年度	実績値	目標値																																				
H22	150	1,000																																				
H23	800	1,000																																				
H24	1,132	1,000																																				
H25	1,000	1,000																																				
H26	1,100	1,000																																				
H27	1,100	1,000																																				
H28	1,200	1,000																																				
H29	1,200	1,000																																				
H30	1,300	1,000																																				
H31	1,300	1,000																																				
H32	1,400	1,000																																				

- 現段階の問題点・改善等が必要な項目
- ①自然公園について、「利用を促進」させつつ「保護」を図るという相反する取組を総合的に進めるため、巡視指導等と合わせて保護思想の啓発が必要です。
 - ②河川美化活動ボランティアの高齢化が進んでおり、負担の軽減が必要です。
 - ③原子力災害の影響や狩猟者の減少等で狩猟行為が少なくなり、有害鳥獣が増加することなどに伴って農作物被害等が拡大する傾向にあるため、今後、適切な保護管理が必要です。
 - ④原子力災害の影響で減少している、自然に親しみながら学習する機会の拡充を図ります。

●政策分野の名称 **思いやり（４）低炭素・循環型社会**

30年後
の
将来像

エネルギー消費の効率化と利便性の追求が調和した低炭素型の社会となっています。
また、森林資源が持つ多面的機能が広く理解され、森を大事にする意識が浸透しています。
さらに、リサイクルなどが進み、環境負荷の少ない循環型の社会が実現しています。

●代表的な取組の進捗状況

①省エネルギー・省電力対策

【公共施設における節電に関する取組】

- ◆学校や事業所等での省資源・省エネルギーの取組を推進するため、二酸化炭素排出量の削減目標を定めた「福島議定書」を知事と締結し、ふくしまエコチャレンジシート等で家庭や地域での実践を促進しています。
(H24実績：652学校、1,153団体)

【省エネルギー・省コスト化に関する取組】

- ◆温室効果ガス排出削減に向け、エコドライブの講師派遣や情報発信を行うとともに、マイカー通勤から公共交通機関利用へ誘導するなど、エネルギーの効率的利用を推進しています。
(H24エコドライブ講習会等実績：21回)



平成24年度福島議定書事業参加団体の様子

②環境に配慮した経済活動・ライフスタイル

【環境に配慮したライフスタイルへの転換に関する取組】

- ◆子どもたちの環境保全に関する意識を醸成するため、ポストカード・川柳やことわざのコンテストを実施しています。
(H24実績：応募総数 2,222 作品)

【環境と共生する農林水産業の再生・拡大に関する取組】

- ◆消費者を対象とした現地交流会や生産者を対象とした技術研修会の開催等により、有機農業をはじめとする環境と共生する農業の再生と拡大を推進しています。



木とのふれあい創出事業(伊達市)

③廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用など

【廃棄物の減量化・再資源化に関する取組】

- ◆主に県内排出の廃棄物等を利用して製造された優良な製品を認定することなどにより、廃棄物等の有効利用とリサイクル産業の育成を支援しています。
(H24年度末時点認定製品数：22事業者 49製品)

【産業廃棄物に関する取組】

- ◆産業廃棄物排出事業者が排出抑制を目的として整備する先進性のある設備や、産業廃棄物処理業者が高度な処理技術の導入等を目的として行う調査・研究に対して支援しています。
(H24支援実績：5社)



うつくしま、エコリサイクル製品



リサイクル製品
(間伐材を再利用したフェンス)

●指標の進捗状況

●実績値
◆目標値

・指標1
「福島議定書」事業
参加団体数(学校)

○現況値(H24)

652 件

○H25 目標値

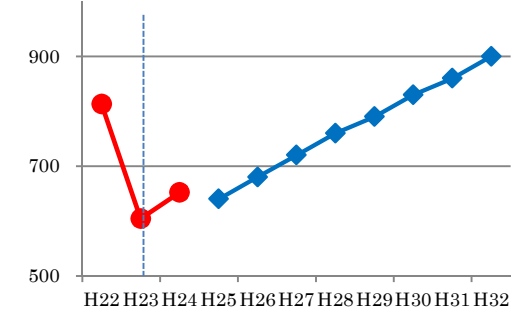
640 件以上

○評 価：順 調

(件数：学校)

○評価の理由：

震災の影響により、H23 参加校数は震災前より 209 件減少したが、H24 は増加に転じているため。



・指標2
「福島議定書」事業
参加団体数(事業所)

○現況値(H24)

1,153 件

○H25 目標値

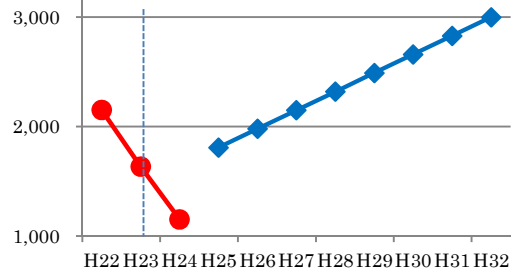
1,810 件以上

○評 価：順調ではない

(件数：事業所)

○評価の理由：

震災の影響により、H24 参加事業所数は震災前より 1,000 件減少しており、回復が見られないため。



・指標3
一般廃棄物の
リサイクル率

○現況値(H23)

13.9 %

○H26 目標値

24.5 % 以上

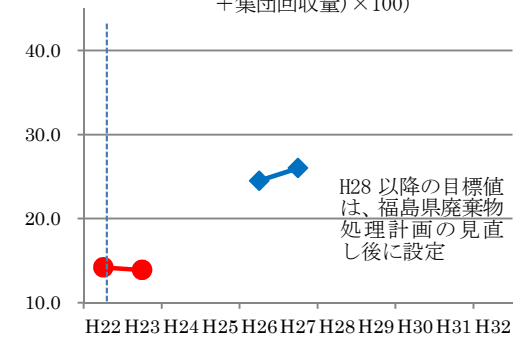
○評 価：順調ではない

(%：総資源化量÷(一般廃棄物処理量+集団回収量)×100)

○評価の理由：

増加を目標としている中、前年度から 0.3%減少しており順調ではないため。

減少の要因については、H26 の県廃棄物処理計画の見直しに向けた排出量実態調査の中で、東日本大震災の影響も含めて分析していくことにしたい。



●現段階の問題点・改善等が必要な項目

①原子力災害後、火力発電所がフル稼働していることや、復興最優先の状況ため、CO2 排出量削減が困難な局面にあることから、引き続き、福島議定書等による環境に配慮した取組や普及啓発等が必要です。

②放射性物質の影響（風評を含む）で、県内で発生した廃棄物のリサイクルや、たい肥をはじめとする有機性資源の循環利用が停滞していることから、リサイクル・循環利用を回復させる必要があります。

指標の評価の考え方

現段階では、多くの指標で平成25年の実績値が出ていないため、以下の考え方により評価を行う。

○ 評価の仕方

- 1 平成25年の実績値が出ていれば、目標値との比較により評価
- 2 平成25年の実績値が出ていない場合は、前年の数字との比較により評価（平成22年と平成23年、平成23年と平成24年の比較など）
- 3 比較する数値が無いもの、また、指標の中で目標値を設定せず目指す方向性を記載しているものは「－」（評価なし）とし、指標に関する現状の分析をする。

○ 評価の基準

評価については、「順調」、「おおむね順調」、「順調ではない」、「－」（評価なし）の4つのパターンで記載する。

順調	・平成25年(又は過年度)の実績値が、既に平成25年目標値に達しているもの。
おおむね順調	・平成25年(又は過年度)の実績値が、平成25年目標値に達していないが、今後、達成見込みが有るもの。 ・過年度実績値の経年比較で、値の変化が良好なもの。
順調ではない	・平成25年(又は過年度)の実績値が、平成25年目標値に達しておらず、今後も達成が困難なもの。 ・過年度実績値の経年比較で、値の変化が悪くなっているもの、又は平成25年目標の達成が困難と判断されるもの。
－	・比較する数値が無いもの ・指標の中で目標値を設定せず目指す方向性を記載しているもの